

SONY®

4-659-730-01(1)



AIBO Navigator 2

User's Guide ERF-220AW05

お買い上げいただきありがとうございます。



このユーザーガイドには、健康を守るための重要な注意事項を示しています。このユーザーガイドをよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

日本語

English

Français

Deutsch

警告 安全のために

警告表示の意味

セットアップガイド、ユーザーガイドおよび製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



注意

行為を禁止する記号



注意

この表示の注意事項を守らないと健康を害するおそれがあります。



注意

下記の注意を守らないと**健康を害する**おそれがあります。

ディスプレイ画面を長時間継続して見ない

ディスプレイなどの画面を長時間継続して見続けると、目が疲れたり、視力が低下するおそれがあります。ディスプレイ画面を見続けて体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐにコンピュータの使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みのとれないときは、医師の診察を受けてください。



注意

キーボード、マウス、コントローラなどを使いすぎない

キーボード、マウス、コントローラなどを長時間継続して使用すると、腕や手首が痛くなったりすることがあります。使用中に体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐにコンピュータの使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みのとれないときは、医師の診察を受けてください。

また、コントローラなどの振動機能を使用する場合は、目安として約30分ごとに休息をとってください。



- 権利者の許諾を得ることなく、ソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されています。
- セットアップガイドおよびユーザーガイドに記載されている以外の方法によってご使用になられたことによる不都合につきましては、当社は一切その責任を負いません。
- 付属のソフトウェアは、指定された装置以外には使用できません。
- 付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

お使いになる前に、付属のソフトウェア使用許諾契約書をお読みください。



OPEN-R

OPEN-Rは、用途に応じた「柔軟なハードウェアの構成」や「ソフトウェアの交換」により、エンターテインメントロボットの世界を広げるためにソニーが提唱するエンターテインメントロボット・システムの標準インターフェースです。

AIBO Navigator 2 は、OPEN-Rバージョン1.1.2に準拠しています。

“ AIBO ”とAIBOロゴ 、“ OPEN-R ”とOPEN-Rロゴ  はソニー株式会社の登録商標です。

“ メモリスティック ”(“ Memory Stick ”)と“  ” “ **MEMORY STICK** ”はソニー株式会社の商標です。

Microsoft、Windows、Direct Xは米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。

その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。

なお、本文中では“ ™ ”、“ ® ”マークは明記していません。

インターネット上でも情報をご覧になることができます。

<http://www.aibo.com/>



目次

はじめに	7
起動する	8
終了する	11
AIBOの状態と復帰	12
ERS-220の場合	12
ERS-210の場合	13
コントロールパネル各部の名称	14
メインパネル	14
サブパネル	17
プロパティ	19
AIBOをコントロールする	21
コントローラに割り当てる	22
キーに割り当てる	23
移動する	24
マウスを使う	24
コントローラを使う	25
キーを使う	25
速度を変える	25
転倒したときは	26

カメラアングルを変える / 静止画を保存する	27
カメラアングルを変える	27
カメラアングルの方を向く	28
静止画を保存する	29
アルバムを整理する	30
画質を変える	31
サウンドデータを再生する	32
PCで録音してから再生する	32
PC内に保存してあるサウンドデータを再生する	34
音声を送信する	35
モーションを再生する	36
ボールを追尾する	37
ボールを探す回数を設定する	38
キック / ヘディングする	39
リトラクタブルヘッドライトを点灯する	40
AIBOマスタースタジオで作成したモーションデータを利用する	41
使用上の注意	44
故障かな?と思ったら	46

AIBO本体の取り扱い(各部名称、各種設定、“メモリースティック”の取り付けかた、使用上の安全の注意事項など)については、ERS-210/220の各取扱説明書をご覧ください。



はじめに

AIBO Navigator 2(アイボナビゲーター2)のインストールは終了しましたか？インストールしていない場合は、「セットアップガイド」をご覧ください。AIBO Navigator 2 のインストールとワイヤレスLANの設定を行ってください。

では、実際にAIBO ERS-210/220をリモートコントロールしてみましょう。本書では、AIBO Navigator 2 の起動、メインウィンドウとなるコントロールパネルについて、またAIBOを実際にリモートコントロールする方法を説明します。



起動する

PCとAIBOを起動してから、AIBO Navigator 2 を起動します。

ご注意

モデムを使ってインターネット接続を行っている場合、環境によってAIBO Navigator 2 起動時にインターネット接続チェックのために自動的にダイヤルアップ接続する場合があります。

ダイヤルアップ接続しないようにするためには、次の設定が必要です。

- ① [スタート] ボタン- [設定] - [コントロール パネル] をクリックする
- ② [インターネット オプション] アイコンをダブルクリックする
- ③ [接続] タブの [ダイヤルアップの設定] で [ダイヤルしない] ラジオボタンをONにする
- ④ [OK] ボタンをクリックする

1 PCを起動する

電源を入れ、Windowsを起動します。

2 AIBOを起動する

AIBOに“ メモリースティック ”を挿入して、起動します。

- ① AIBOに「AIBO Navigator 2」の“ メモリースティック ”を挿入する
挿入方法については、AIBOの取扱説明書をご覧ください。
- ② AIBOのポーズボタンを押し、AIBOを起動する

3 AIBO Navigator 2 を起動する

- ① デスクトップのショートカットアイコンをダブルクリック、またはタスクバーの [スタート] ボタン - [プログラム] - [AIBO Navigator 2] - [AIBO Navigator 2] をクリックする
「オーナー認証」ダイアログボックスが表示されます。(セットアップ時にユーザーIDとパスワードを設定しなかった場合、「オーナー認証」ダイアログボックスは表示されません。)
 - ② ワイヤレスLANの設定時(セットアップガイド17ページ)に設定したユーザーIDとパスワードを入力して [OK] をクリックする
[パスワードを記憶する] をチェックすると、次回からユーザーIDとパスワードを入力する必要はありません。
コントロールパネルが表示されます。
-

メインパネル



サブパネル

コントロールパネルには「メインパネル」と「サブパネル」があります。メインパネルのみを表示することもできます。



終了する

PCとAIBOでAIBO Navigator 2 を終了します。

1 次のいずれかの方法でAIBO Navigator 2 を終了する

- メインパネルの  をクリックする
 - コントロールパネルのメタリック地の上でマウスの右ボタンをクリックし、メニューから [終了] を選択する
-

2 AIBOの胸のポーズボタンを押して活動停止状態にしてから、“メモリースティック”を取り出す

取り出し方については、AIBO本体の取扱説明書をご覧ください。

AIBOの状態と復帰

AIBO Navigator 2 で活動中のAIBOが関節に何かをはさんだり抱き上げられたりした場合は、次の復帰手順によってリモートコントロール可能な状態に戻ります。

ERS-220の場合

通常時
あなたのリモートコントロールに従って、AIBOが動きます。



ご注意

- 落下する危険性のある場所や振動する場所、不安定な場所では使用しないでください。
- 動きの妨げとなるものをAIBOの周囲に置かないでください。

関節に何かをはさんだ

ヘッドタッチセンサーを
後ろに3秒倒す

首または脚の付けねの関節に何かがはさまると、AIBOは脱力状態になり、すべての関節から力を抜きます。これはAIBOの関節に手をはさんでけがをすることを防ぐためです。このときモードランプが点滅します。

通常時に戻すには、ヘッドタッチセンサーを後ろに3秒倒します。

はさみこみ状態

関節に物をはさんだ
ときに脱力する状態



抱き上げられた

床に降ろす、または床に降ろした後、
ヘッドタッチセンサーを後ろに3秒倒す

AIBOは抱き上げられると抱っこされやすい状態になり、モードランプが点灯します。

通常時に戻すには、AIBOを床に降ろしてください。しばらくしても通常時に戻らないときは、ヘッドタッチセンサーを後ろに3秒倒します。

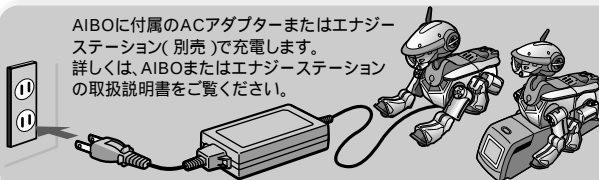
だきあげ状態



▼ バッテリーを充電するには

AIBOの胸のポーズボタンを押して、活動を停止させてください。

AIBOに付属のACアダプターまたはエナジーステーション(別売)で充電します。
詳しくは、AIBOまたはエナジーステーションの取扱説明書をご覧ください。



ご注意

充電中や、エナジーステーション上のAIBOは、活動停止状態です。動作を指示しても動きません。

ERS-210の場合

通常時

あなたのリモートコントロールに従って、AIBOが動きます。



ご注意

- ・落下する危険性のある場所や振動する場所、不安定な場所では使用しないでください。
- ・動きの妨げとなるものをAIBOの周囲に置かないでください。

関節に何かをはさんだ

頭センサーを3秒押す

はさみこみ状態

関節に物をはさんだときに脱力する状態

点滅



首または脚の付けねの関節に何かがはさまると、AIBOは脱力状態になり、すべての関節から力を抜きます。これはAIBOの関節に手をはさんでがえることを防ぐためです。このときモードランプが点滅します。通常時に戻すには、頭センサーを3秒押します。

抱き上げられた

床に降ろす、または床に降ろした後、
頭センサーを3秒押す

だきあげ状態

点灯



AIBOは抱き上げられると抱っこされやすい状態になり、モードランプが点灯します。通常時に戻すには、AIBOを床に降ろしてください。しばらくしても通常時に戻らないときは、頭センサーを3秒押します。

バッテリーを充電するには

AIBOの胸のポーズボタンを押して、活動を停止させてください。

AIBOに付属のACアダプターまたはエネルギーステーション(別売)で充電します。詳しくは、AIBOまたはエネルギーステーションの取扱説明書をご覧ください。



ご注意

充電中や、エネルギーステーション上のAIBOは、活動停止状態です。動作を指示しても動きません。



コントロールパネル各部の名称

コントロールパネルを使用して、PCからAIBOをリモートコントロールすることができます。

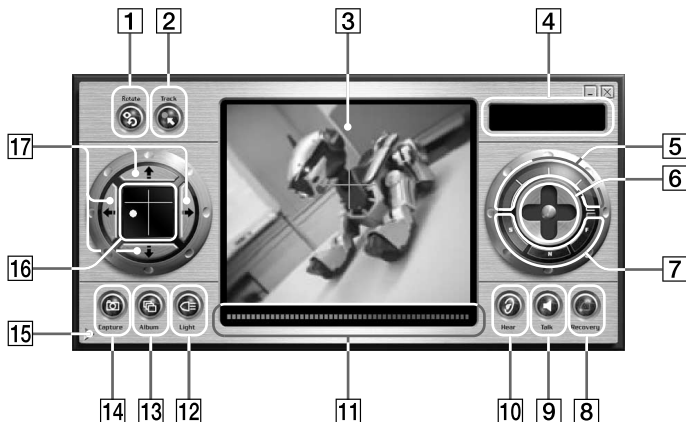
コントロールパネルには、メインパネルとサブパネルがあります。

メインパネル

AIBO Navigator 2 を起動すると最初に表示されるパネルです。

コントローラ等からの操作内容もパネルに反映されます。

パネルは、マウスでドラッグして移動できます。



1 回転ボタン

クリックすると、AIBOが体の向きをカメラアングルに合わせます。カメラアングルは正面に戻ります。(28ページ)

2 トラッキングボタン

クリックするたびにON/OFFが切り換わります。

ONにするとAIBOが付属のピンクボールを追尾します。(37ページ)

3 カメラ実況エリア

AIBOのカメラに映っている画像を表示します。

4 ステータスインジケータ

AIBOの現在の状態を表示します。

5 バッテリー残量

AIBOのバッテリー残量を表示します(4段階)。

6 移動方向エリア

AIBOの移動方向を指示します。十字(濃いグレー地)の先端部分をクリックします。十字の中心をクリックすると、AIBOが止まります。(24ページ)

7 速度ボタン

AIBOが前進するときの速度を選択します。(25ページ)

F	速い(Fast)
N	普通(Normal)
S	ゆっくり(Slow)

8 転倒復帰ボタン

AIBOを転倒状態から復帰させます。(26ページ)

9 トークボタン

PCからサウンドデータを送信し、AIBOに再生させます。(32ページ)

10 ヒアボタン

クリックするたびにON/OFFが切り換わります。

ONにすると、AIBOがとらえた音をPCへ送信します。(35ページ)

11 物体センサー

カメラ実況エリア(**3**)の、+印の位置にある物体までの距離を表示します。

12 ライトボタン

クリックするたびにON/OFFが切り換わります。ONにすると、ERS-220のリトラクタブルヘッドライトが点灯します。

ERS-220の場合のみ使用可能になります。(40ページ)

13 アルバムボタン

アルバムウィンドウ(30ページ)を表示します。

14 スチルキャプチャーボタン

クリックすると、AIBOのカメラに映っている画像を静止画として保存します。(29ページ)

15 サブパネル表示

クリックするとサブパネルが閉じます。再度クリックするとサブパネル(17ページ)が表示されます。

16 カメラアングル表示エリア

AIBOのカメラアングルを黄色で表示します。ピンクボールを認識している時は、その位置も同時に表示します。(27ページ)

17 カメラアングル操作ボタン

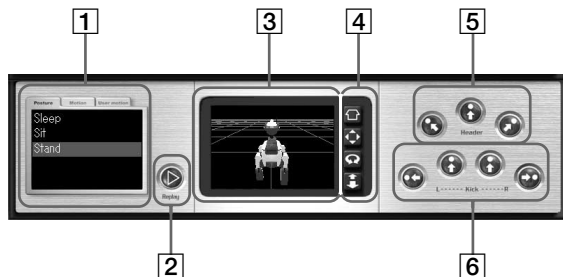
AIBOのカメラアングルを微調整できます。(27ページ)

サブパネル

AIBOに、キック／ヘディングやモーション再生などを指示します。通常はメインパネルの下に表示されますが、閉じることもできます。（「メインパネル」

15の説明参照）

サブパネルを単独で表示したり移動したりすることはできません。



1 モーション選択メニュー

タブを選択し、さらにモーションを選択すると、AIBOがモーションを再生します。（36ページ）

2 リプレイボタン

クリックすると、直前に再生したモーションを、AIBOがもう一度再生します。（36ページ）

3 3D AIBO表示エリア

AIBOの現在の姿勢を3D表示します。また、AIBOのセンサー部へのタッチを感知して表示します。なお、AIBOの3D画像は、実際のAIBOの動きと完全には一致しない場合があります。

- [4] 3D AIBOビュー切り替えボタン**
AIBOの3D画像の視点を切り換えます。視点が変わるだけで、実際のAIBOが動くわけではありません。
-

 **ビューホームポジションボタン**
AIBOの3D画像の視点をホームポジションに戻します。
ホームポジションの設定は「プロパティ」(19ページ)で行います。

 **ビュー移動ボタン**
AIBOの3D画像の位置を動かします。
マウスをドラッグして3D AIBO表示エリア内を移動させます。

 **ビュー回転ボタン**
AIBOの3D画像を回転させます。マウスをドラッグし、視点を変えて現在のAIBOの姿勢を見ることができます。

 **ビューズームボタン**
AIBOの3D画像を拡大表示します。

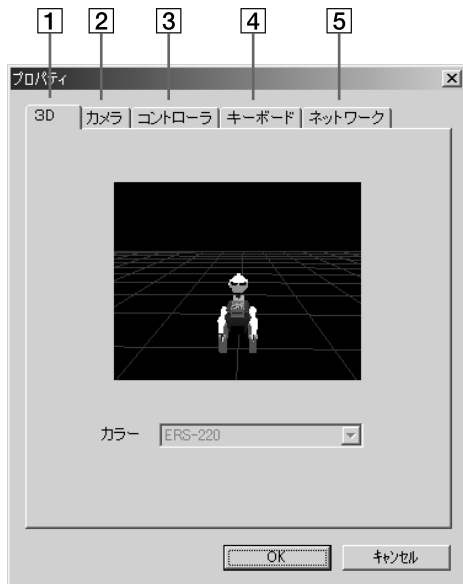
[5] ヘディングボタン
AIBOがヘディングします。(39ページ)

[6] キックボタン
AIBOが前脚キックします。(39ページ)

プロパティ

リモートコントロールに関する各種設定を行います。

コントロールパネルのメタリック地の上でマウスの右ボタンをクリックし、メニューから [プロパティ] をクリックすると表示されます。



1 3Dタブ

AIBOの3D画像の視点のホームポジションを設定します。

画面上の3D画像をマウスでドラッグして視点を決め、[OK]ボタンをクリックします。

AIBOの3D画像のボディ色を選択します。

[カラー]メニューから色を選択すると、次回以降のAIBO Navigator 2の起動時に有効になります。

ご注意

ERS-220をご使用の場合、ボディ色の選択はできません。

2 カメラタブ

カメラの画質を設定します。(31ページ)

ピンクボールを探す回数を設定します。(38ページ)

3 コントローラタブ

AIBOの動作をコントローラに割り当てます。(22ページ)

4 キーボードタブ

AIBOの動作をキーボードに割り当てます。(23ページ)

5 ネットワークタブ

AIBOのIPアドレスを設定します。
(セットアップガイド参照)



AIBOをコントロールする

コントロールパネルでAIBOをリモートコントロールします。

リモートコントロールできるのは、次の9つです。

- 移動する(24ページ)
- カメラアングルを変える / 静止画を保存する(27ページ)
- PC上のサウンドデータをAIBOで再生する(32ページ)
- AIBOがとらえた音をPCに送信する(35ページ)
- モーションを再生する(36ページ)
- ボールを追尾する(37ページ)
- キック / ヘディングする(39ページ)
- リトラクタブルヘッドライトを点灯する(40ページ)
- AIBOのマスタースタジオで作成したモーションデータを利用する(41ページ)

AIBOをリモートコントロールする方法には、3つあります。

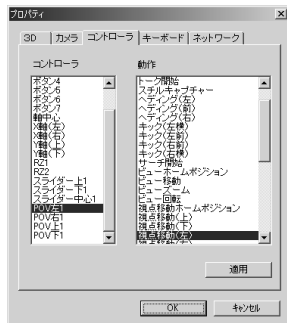
- コントロールパネルのボタンをクリックする
- コントローラ(市販)を使う
- キーボードを使う

コントローラに割り当てる

- 1** コントロールパネルのメタリック地の上でマウスの右ボタンをクリックし、[プロパティ]をクリックする
- 「プロパティ」が表示されます。

- ## 2 [コントローラ] タブをクリックする

- ### 3 「コントローラ」から割り当て先のキー/ボタンやスティックを倒す方向を、「動作」から割り当ててる動作を選択する
- 「コントローラ」の表示内容は、接続しているコントローラによって異なります。



- #### 4 [OK] をクリックする

これで割り当てが完了しました。

動作を割り当てたボタンやキーを押す、またはスティックを倒すと、AIBOが指示された動作をします。

キーに割り当てる

- 1** コントロールパネルのメタリック地の上でマウスの右ボタンをクリックし、[プロパティ] をクリックする
- 「プロパティ」が表示されます。

- ## 2 [キーボード] タブをクリックする

- ### 3 「キーボード」から割り当て先のキーを、「動作」から割り当てる動作を選択する



- #### 4 [OK] をクリックする

これで割り当てが完了しました。

動作を割り当てたキーを押すと、AIBOが指示された動作をします。

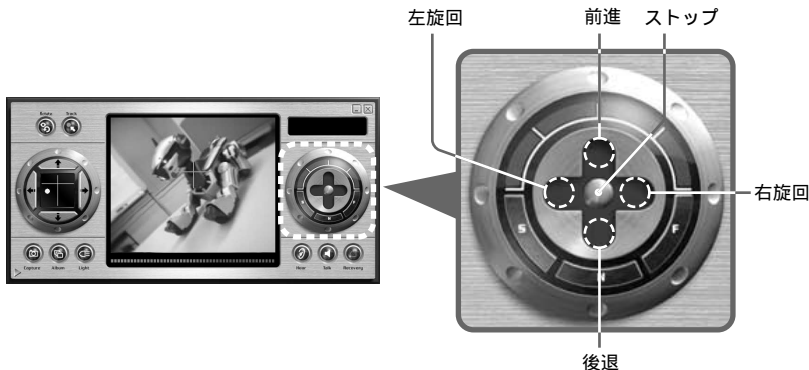


移動する

AIBOを移動させる、または止める方法には3つあります。

マウスを使う

[移動方向]エリアの十字の先端部分をクリックします。一度クリックすると、中央部分をクリックしてストップを指示するまで進み続けます。



コントローラを使う

スティックを倒し続ける、または方向キーを押し続けると進み続けます。手を放すと止まります。

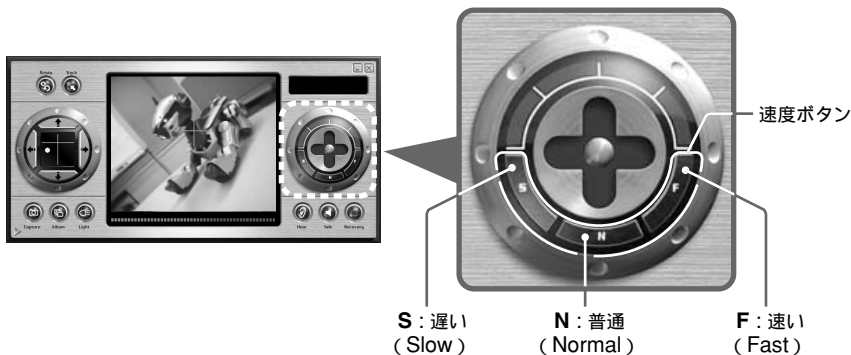
キーを使う

進ませたい方向のキーを押すと、AIBOが指示した方向に進みます。一度キーを押すと、ストップを割り当てたキーを押すまで進み続けます。

速度を変える

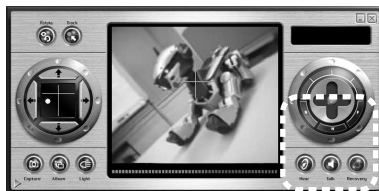
前進時の歩行速度を3段階から選択することができます。

メインパネルの [速度] ボタン、キーボード、コントローラのいずれかで選択します。



転倒したときは

AIBO Navigator 2 では、AIBOは転倒状態から自動では復帰しません。
転倒したときは、メインパネルの [転倒復帰] ボタン、キーボード、コントローラのいずれかで復帰します。
リモートコントロールで復帰できない場合は、手で起こしてください。



転倒復帰ボタン



カメラアングルを変える / 静止画を保存する

AIBOのカメラに映っている画像が「カメラ実況エリア」に表示されます。
カメラアングルを変えたり、静止画を保存することもできます。

カメラアングルを変える

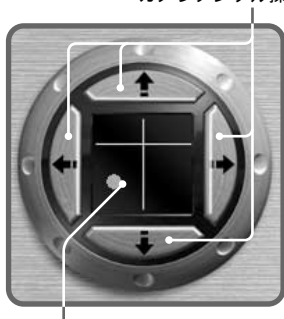
カメラアングル表示エリア内の任意の位置をクリックする

クリックした位置に、カメラアングルが移動します。

微調整は、[カメラアングル操作]ボタンをクリックして行います。現在のアングルは、「カメラアングル表示エリア」に表示されます。

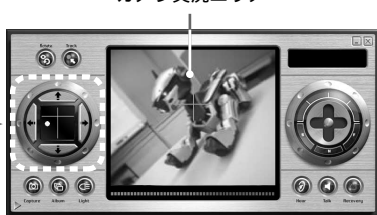
[カメラアングル操作]ボタンを割り当てたコントローラまたはキーでも指示できます。*

カメラアングル操作ボタン



カメラアングル表示エリア

カメラ実況エリア



* この場合、希望のアングルで、ボタンまたはスティックを放します。

カメラアングルの方を向く

AIBOの体の向きを、カメラアングルに合わせます。カメラアングルは正面に戻ります。

メインパネルの[回転]ボタンをクリックします。



[回転]ボタンを割り当てたコントローラまたはキーでも指示できます。

前進指示(24ページ)との組み合わせによって、カメラアングルの方向へ前進することができます。

ご注意

回転の角度によっては、多少の誤差が生じる場合があります。

静止画を保存する

AIBOのカメラに映っている画像を静止画として保存できます。

ご注意

- AIBOを使用して保存した静止画に起因してお客様と第三者の間に権利侵害等の問題が発生した場合、当社は一切責任を負いかねます。他の方に迷惑がかかるような静止画は保存しないようにお願いいたします。
- 実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

メインパネルの [スチルキャプチャー] ボタンをクリックする

[スチルキャプチャー] ボタンを割り当てたコントローラまたはキーでも、指示できます。

撮影予告に続いて、AIBOが静止画を撮影します。撮影は繰り返し行うことができます。(撮影予告も繰り返されます。)

静止画はアルバム内に保存されますが、99枚を超えると古いものから順に削除されます。次の「アルバムを整理する」を参照し、必要に応じて別フォルダなどに保存してください。

画質について

- 保存される静止画の画質は、プロパティでの設定(31ページ)によって異なります。
高画質：約180×140画素
通常画質：約90×70画素
- 照明によっては静止画に横縞(フリッカー)が入ったり、赤み、青みを帯びることがあります。
- 被写体の動きが速い場合、歪んで撮影されることがあります。

アルバムを整理する

アルバム内の画像を保存または削除します。

- 1 メインパネルの[アルバム]ボタンをクリックする
アルバムウィンドウが表示されます。



- 2 ◀または▶をクリックして画像を選択する

保存するときは、[Save]ボタンをクリックします。
表示されたダイアログボックスで「保存先」と
「ファイル名」を入力して[OK]をクリックしま
す。

削除するときは、[Delete]ボタンをクリックします。
選択した画像が削除されます。



画質を変える

カメラの画質を変更できます。[プロパティ] で設定します。

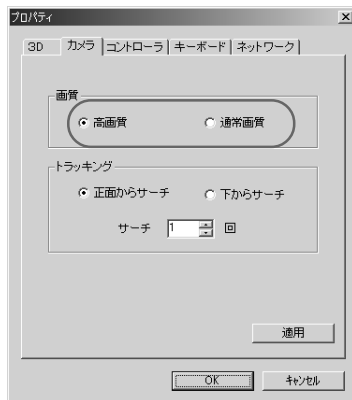
- 1 メインパネルのメタリック地の上でマウスの右ボタンをクリックし、[プロパティ] をクリックする

「プロパティ」が表示されます

- 2 [カメラ] タブを選択する

- 3 画質を設定する

「高画質」または「通常画質」を選択します。



- 4 [OK] をクリックする



サウンドデータを再生する

AIBOがサウンドデータを再生します。

PCで音声を録音してからAIBOに再生させる方法と、PC内にあらかじめ保存してあるサウンドデータを再生させる方法があります。

なお、AIBO Navigator 2 で再生できるのはWAVEファイルのみで、サウンド形式は8kHz、8ビット、モノラル、PCM、最長15秒間です。

PCで録音してから再生する

1 メインパネルの [トーク] ボタンをクリックする

[トーク] ボタンを割り当てたコントローラまたはキーでも、指示できます。
録音ダイアログボックスが表示されます。



トークボタン

2 をクリックする

録音が始まります。PCのマイクに向かって録音してください。
録音できるのは、15秒間です。15秒たつと録音は止まります。



15秒未満で録音を終了するときは、 をクリックします。
録音内容を試し聞きするときは、 をクリックしてください。
録音した内容がPC上で再生されます。
録音をやりなおしたいときは、もう一度  をクリックして録音します。

3 [OK] をクリックする

AIBOが、録音されたサウンドデータを再生します。

録音ダイアログボックスでは、録音したファイルを保存することはできません。

PC内に保存してあるサウンドデータを再生する

- 1 メインパネルの [トーク] ボタンをクリックする

[トーク] ボタンを割り当てたコントローラまたはキーでも指示できます。

録音ダイアログボックスが表示されます。



トークボタン

- 2 [Browse] をクリックする

「ファイルを開く」ダイアログボックスが表示されます。

- 3 再生したいWAVEファイルを選択し、[OK] をクリックする

録音ダイアログボックスの「File」に選択したWAVEファイルのパスが表示されます。

サウンドデータを試し聞きするときは、 をクリックしてください。

選択したサウンドデータがPC上で再生されます。



- 4 [OK] をクリックする

AIBOが、選択したサウンドデータを再生します。



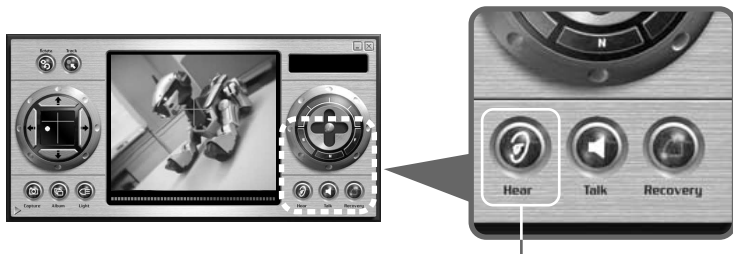
音声を送信する

AIBOがとらえた音声をPCに送信し、PCのスピーカーから聞くことができます。

メインパネルの[ヒア-]ボタンをクリックし、「ON」にする

[ヒア-]ボタンを割り当てたコントローラまたはキーでも指示できます。

AIBOがとらえた音声が入り、PCに送信され、PCのスピーカーを通して聞くことができます。



音声の送信をストップするには、[ヒア-]ボタンを再度クリックして「OFF」にします。

ご注意

AIBOからPCに送信する音声データは、PC上にファイルとして保存することはありません。



モーションを再生する

用意されているモーションを、AIBOが再生します。

1 メインパネルの[サブパネル表示] をクリックする

2 [モーション選択] メニューからモーションを選択する



モーションは、タブによって以下のカテゴリーに分けられています。タブをクリックし、モーションを選択します。

Posture	座る / ふせる / 立つ
Motion	用意されているモーション (変更することはできません)
User motion	別売りのAIBO マスタースタジオで作成したモーションデータに置き換えることができます。(標準では1種類のデータが異なる名前で登録されています。) 置き換えの方法については、41ページをご覧ください。

AIBOが選択されたモーションを再生します。

[リプレイ] ボタンをクリックすると、直前に再生したモーションを、AIBOがもう一度再生します。



ボールを追尾する

AIBOがピンクボールを探し、発見すると自動的に追尾します。

メインパネルの [トラッキング] ボタンをクリックし、「ON」にする
[トラッキング] ボタンを割り当てたコントローラまたはキーでも指示できます。



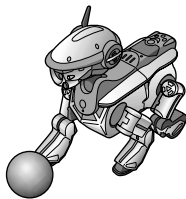
[プロパティ] の [カメラ] タブで、「正面からサーチ」が選択されている場合は、正面から探し始めます。

「下からサーチ」が選択されている場合は、下から探し始めます。

あらかじめ設定された回数だけピンクボールを探します。それでも見つからない場合は探すのをやめ、[トラッキング] ボタンは「OFF」になります。

追尾をストップするには、[トラッキング] ボタンを再度クリックして「OFF」にします。

追尾中にAIBOがボールを見失うと、カメラアングルはホームポジションに戻り、[トラッキング] ボタンは「OFF」になります。



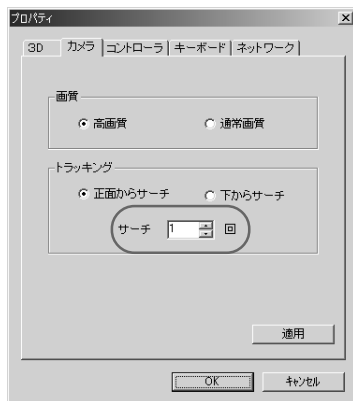
ボールを探す回数を設定する

ピンクボールを探す回数を設定します。

- 1 メインパネルのメタリック地の上でマウスの右ボタンをクリックし、[プロパティ] をクリックする
「プロパティ」が表示されます。

2 [カメラ] タブをクリックする

- 3 探す回数を入力する
設定できる回数は、1～10回です。

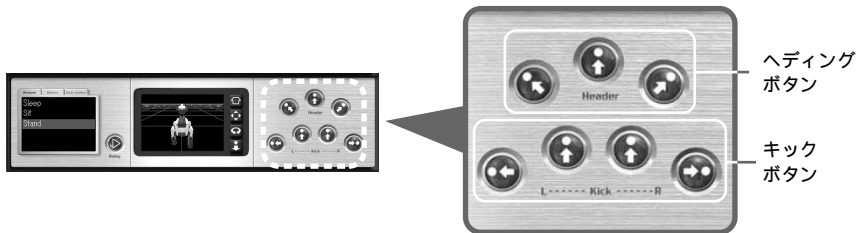


- 4 [OK] をクリックする

キック / ヘディングする

前脚キック、またはヘディングします。

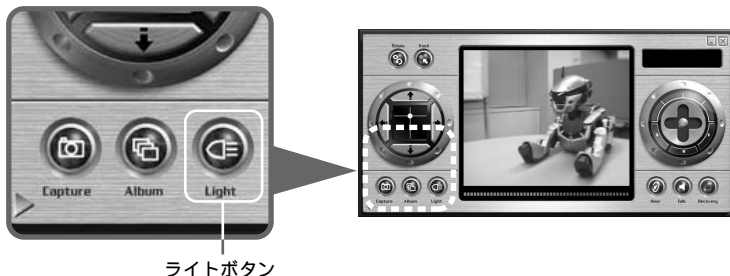
サブパネルの[キック] ボタンまたは [ヘディング] ボタンをクリックします。
[キック] ボタンや [ヘディング] ボタンを割り当てたコントローラまたはキーでも、指示できます。





リトラクタブルヘッドライトを点灯する

AIBO ERS-220のリトラクタブルヘッドライトを点灯します。
メインパネルの[ライト]ボタンをクリックして「ON」にします。
[ライト]ボタンを割り当てたコントローラまたはキーでも指示できます。



消灯するには、[ライト]ボタンを再度クリックして「OFF」にします。

ご注意

ヘッドライトを長時間見つめていると目をいためる可能性があります。

AIBOマスタースタジオで作成した モーションデータを利用する

AIBO Navigator 2 では、AIBOマスタースタジオ(別売り)でエクスポートしたaxf形式のファイルを、既存のユーザーモーションと置き換えて使用することができます。

ご注意

- 本ソフトウェアは、AIBOマスタースタジオ Ver1.1以降で、ERS-210/220用として作成されたaxf形式ファイルに対応しています。
- この機能を使用するためには“メモリースティック”リーダー/ライターが必要です。
- axf形式ファイルのうち、「モーションの開始姿勢と終了姿勢が異なる」ものは使用できません。

1 “メモリースティック”リーダー/ライターに、AIBO Navigator 2 の“メモリースティック”を挿入する

2 タスクバーの[スタート]ボタンをクリックし、[プログラム]-[AIBO Navigator 2]-[Axfファイルのインポート]をクリックする
お使いのAIBOの機種名を指定すると、[Axfファイルのインポート]が表示されます。



3 「メモリースティックドライブ」で“メモリースティック”リーダー / ライターのドライブを指定する

4 読み込みたいaxf形式ファイルの基本姿勢 (Sleep、Sit、Standのいずれか) を選択する

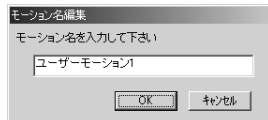
選択した姿勢ごとに「モーション名リスト」に10個のモーションが表示されます。(初期状態では、同じモーションが10個登録されています。このモーションを置き換えることができます。)

5 「モーション名リスト」から、置き換えたい (現在登録されている) ユーザーモーションを選択する

6 [読み込み] ボタンをクリックし、表示されたダイアログボックスでaxf形式ファイルを指定する

[モーション名編集] が表示されます。

7 登録したいモーション名を入力し、[OK] ボタンをクリックする



8 続けて他のユーザーモーションも置き換える場合は、手順4～7を繰り返す

9 [Axfファイルのインポート]の[OK]ボタンをクリックする

AlBO Navigator 2 の“メモリースティック”の指定したユーザーモーションが置き換えられます。

[Axfファイルのインポート]の[キャンセル]ボタンをクリックすると、それまでの置き換え指定を反映せずに、処理を中止します。

10 “メモリースティック”リーダー / ライターから、“メモリースティック”を取り出す

ご注意

“メモリースティック”リーダー / ライターが「使用中 / アクセス中」でないことを十分に確認してから取り出してください。

これで、[モーション選択]メニューの[User Motion]タブ(36ページ)にユーザーモーションとして表示され、選択して再生することが可能になります。



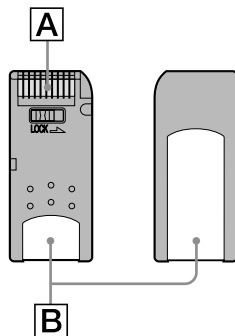
使用上の注意

“メモリースティック”に記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

- AIBO Navigator 2 に付属するAIBO-ware“メモリースティック”は、AIBO ERS-210/220で使用することができますが、ユニットの組み合わせによっては正常に動作しない場合があります。

また、PCやビデオカメラなどAIBO以外の用途に使用しないでください。

- 端子部[A]は手や金属で触れないでください。
- 静電気や電氣的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合、記録したデータが消えたり壊れることがあります。
- ラベルの貼り付け部[B]には、専用ラベル以外は貼らないでください。
AIBO Navigator 2 に付属するAIBO-ware“メモリースティック”には工場出荷時にラベルが貼られています。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 動作中のAIBOから“メモリースティック”を抜くときは、ポーズボタンを押して、停止状態にしてロック表示が白くなっていることを確認してから抜いてください。



- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
 - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
 - 直射日光のあたる場所
 - 湿気の多い場所や腐食性のある場所
- 持ち運びや保管の際は、付属の収納ケースに入れてください。
- ERS-310シリーズ、およびERS-110/111では、AIBO Navigator 2 は使用できません。
- AIBO Navigator 2 はAIBO Navigator 2 のAIBO-ware“メモリースティック”以外では使用することができません。
- 本ユーザーガイドに記載されている以外の方法によってご使用になられたことによる不都合につきましても、当社は一切その責任を負いません。
- ソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

AIBO-ware“メモリースティック”とは？

AIBOで実行できるアプリケーションソフトが書き込まれたAIBO専用の“メモリースティック”です。



故障かな？と思ったら

AIBOクリニックにご相談になる前に、下表でチェックしてみてください。また、AIBO本体の取扱説明書を参照し、クリニックモードでAIBOのバランスや各センサーの状態をチェックしてみてください。それでも具合が悪いときは、AIBOクリニックにご相談ください

症状	・原因 → 対策（参照ページ）
リモートコントロールで指示しても、AIBOが動かない	• バッテリーが異常高温である → バッテリーが冷えきるまで、しばらくお待ちください。 • ワイヤレスLANの設定に問題がある → 設定を確認してください（セットアップガイド参照） • ワイヤレスLANの通信範囲外である → AIBOをPCまたはアクセスポイントに近づけてください。 • はさみこみ状態など、AIBOが自分で復帰できない状態である → リモートコントロール可能な状態に復帰してください（12, 13ページ） 充電中、またはステーション上のAIBOに動作を指示しても動きません。

症状	原因 → 対策 (参照ページ)
ポーズボタンを押しても悲しげなメロディーを出したあと動き出さない	• アプリケーションが記録されていない“メモリースティック”が挿入されている • AIBO専用以外の“メモリースティック”がAIBOに挿入されている • バッテリー残量がない → バッテリー残量確認方法 (AIBO本体取扱説明書参照) で残量を確認してください。残量が無ければ、充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。 • ACアダプターと変換プラグが充電端子に接続されている → ACアダプターと変換プラグをはずし、再起動してください。
ポーズボタンを押してもしばらく動作ランプが消えない	• 動作プログラムに問題が発生している → バッテリーパックのロック表示が白くなっていることを確認して、バッテリーを一度抜いてください (AIBO本体取扱説明書参照) 。バッテリーを再挿入後、再度ポーズボタンを押してください。
ロックがかかっていて、バッテリーを交換できない	• プログラムが動作中である → ポーズボタンを押して、プログラムを停止させてください。

症状	原因 → 対策 (参照ページ)
充電したバッテリーを AIBO に入れてもすぐにバッテリー残量が少なくなる	● 極端に持続時間が短い場合にはバッテリーの寿命が考えられます。新しいバッテリーに交換してください (AIBO 本体取扱説明書参照)
ワイヤレス LAN を使っているが、AIBO がワイヤレス LAN で制御できない。 動きが止まらない。	● AIBO ワイヤレス LAN カードが AIBO に入っていない → AIBO ワイヤレス LAN カードを AIBO に挿入してください。 ● ワイヤレス LAN の IP アドレスが設定されていない → AIBO Navigator 2 に、AIBO に装着したワイヤレス LAN カードの IP アドレスを設定する必要があります (セットアップガイド参照) ● PC で LAN の設定がされていない → PC にワイヤレス LAN カードが挿入されているか、ワイヤレス LAN アクセスポイントと通信ができるようになっていないか、確認してください。
動き出すまで時間がかかる	● “ メモリースティック ” からデータを読み込んでいます。しばらくお待ちください。

症状	原因 → 対策 (参照ページ)
歩こうとしても進まない	床がすべりやすい → 毛足の短いカーペットなどの、すべりにくい床の上においてください。
よく転倒する	床がすべりやすい / 傾いている / 不安定である → すべりにくい平らな場所で動かしてください。
AIBOの動作が途中で止まってしまう	- AIBOのモーターに負荷がかかっている → モーターに負荷がかかった状態が継続すると、自動的に動きが止まる可能性があります。もとに戻すには、ヘッドタッチセンサーを後ろに3秒倒して (ERS-210の場合は、頭センサーを3秒押す) ください。 - AIBO内の温度が上昇している → 動作ランプが消え、AIBOの動作が止まります。温度が下がるまで動きを停止してください。
抱き上げた後、手足をじっとしたまま、ゆっくりとした動きしなくなり、動かなくなった	だきあげ状態である → モードランプが点灯しているか確認し、点灯していたら床に置いてください。しばらくしても動作しない場合は、ヘッドタッチセンサーを後ろに3秒倒して (ERS-210の場合は、頭センサーを3秒押す) ください。

症状	• 原因 → 対策 (参照ページ)
モードランプは点滅して いて、音も出してい るが、足が動かない	• はさみこみ状態である → 床に置き、ヘッドタッチセンサーを後ろに3秒倒して (ERS-210の場合は、頭センサーを3秒押す) くだ さい。
動作ランプがオレンジ 色に点滅している	• バッテリーに異常がある → 新しいバッテリーに交換してください(AIBO本体取扱 説明書参照)。
AIBOのカメラアング ルが、思い通りに調整 できない	• AIBOのカメラアングルは、AIBOの姿勢によって調整可 能範囲が異なります。
WAVEデータが正常に 再生されない	→ 使用可能なデータがお確かめください(32ページ)。
WAVEデータが最後ま で再生されない	• 再生できるのは15秒までです。
[トーク]ボタンで音声 データを指定したが、 AIBOから音が出ない	• ボリューム設定が消音になっている可能性があります。 → 音量を調節してください(AIBO本体取扱説明書参照)。 • PCのマイクから録音されていない可能性があります。 → PCのマイクに向かって録音してください。

症状	原因 → 対策 (参照ページ)
[ヒア-]ボタンを押してもPCから音声が出ない	• PCの音量設定が消音になっている可能性があります。 → 音量を調節してください。

Notice to Users

©2001 Sony Corporation All rights reserved. This manual and the software described herein, in whole or in part, may not be reproduced, translated or reduced to any machine-readable form without prior written approval.

EXCEPT AS SPECIFICALLY SET FORTH IN THE END-USER LICENSE AGREEMENT, SONY CORPORATION PROVIDES THIS MANUAL, THE SOFTWARE AND THE OTHER INFORMATION CONTAINED HEREIN “AS IS” WITH NO WARRANTY AND HEREBY EXPRESSLY DISCLAIMS ANY IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, NONINFRINGEMENT OR FITNESS FOR ANY PARTICULAR PURPOSE WITH REGARD TO THIS MANUAL, THE SOFTWARE, OR SUCH OTHER INFORMATION. IN NO EVENT SHALL SONY CORPORATION BE LIABLE FOR ANY INCIDENTAL, CONSEQUENTIAL, OR SPECIAL DAMAGES, WHETHER

BASED ON TORT, CONTRACT, OR OTHERWISE ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THIS MANUAL, THE SOFTWARE, OR OTHER INFORMATION CONTAINED HEREIN OR THE USE THEREOF. THIS DOES NOT AFFECT YOUR STATUTORY RIGHTS.

Sony Corporation reserves the right to make any modification to this manual or the information contained herein at any time without notice.

The software described herein may also be governed by the terms of a separate user license agreement.

This product contains software owned by Sony Corporation and licensed from third parties. Use of such software is subject to the terms and conditions of license agreements enclosed with this product. Software specifications are subject to change without notice and may not necessarily be identical to current retail versions.

Before using this software, please read the accompanying End-User License Agreement which governs use of this software.

- This software or document is protected by copyright, and distributed under licenses restricting its use, copying, and distribution. No part of this software or document may be reproduced in any form by any means and rental of this software may not be allowed without prior authorization of Sony Corporation.
- Sony Corporation assumes no responsibility for any inconvenience caused by misuse or any use not stated in this document.
- The supplied software cannot be used with any device other than those devices specified herein.
- The specifications of the supplied software are subject to change without notice.



OPEN-R

“OPEN-R” is the standard interface for the entertainment robot system that Sony is actively promoting. This interface expands the capability of the entertainment robot through a flexible combination of hardware and interchangeable software to suit various applications. “AIBO Navigator 2” conforms to OPEN-R version 1.1.2 (software specifications).

“AIBO,” the AIBO logo , “OPEN-R” and the OPEN-R logo  are registered trademarks of Sony Corporation.

“Memory Stick,”  and “**MEMORY STICK**” are trademarks of Sony Corporation.

Microsoft, Windows and Direct X are registered trademarks of Microsoft Corporation in the United States and other countries.

All other system names and product names mentioned herein may be the trademarks or registered trademarks of their respective companies.

In this manual, the “™” and “®” marks have been omitted.

Other information about AIBO is available on the Internet at the following site:
<http://www.aibo.com/>

Reproduction in whole or in part without written permission is prohibited. All rights reserved.



Table of Contents

Introduction	7
Starting up AIBO Navigator 2	8
Quitting AIBO Navigator 2	11
AIBO's modes and how to resume normal operation	12
For the ERS-220	12
For the ERS-210	13
Description of Control panel parts	14
Main panel	14
Sub panel	17
Properties dialog box	19
Controlling AIBO	21
Assigning actions to controller buttons	22
Assigning actions to keyboard keys	23
Moving AIBO	24
Using the mouse	24
Using a controller	25
Using the keyboard	25
Changing AIBO's walking speed	25
If AIBO falls down	26

Adjusting the camera angle/Capturing still-pictures	27
Adjusting the camera angle	27
Aligning AIBO with the camera angle	28
Capturing still-pictures	29
Sorting pictures in an album	30
Changing the picture quality	31
Playing back sound data	32
Recording sound on the PC and playing it back	32
Playing back sound data saved on the PC	34
Transmitting sound	35
Playing back a motion	36
Chasing after the ball	37
Setting the number of times AIBO searches for the ball	38
Kicking/heading	39
Turning on the retractable headlight	40
Using motion data made by AIBO Master Studio	41
Notes on use	44
Troubleshooting	46

For more information about “AIBO” ERS-210/220 (names of parts, settings, “Memory Stick” installation, safety precautions, etc.), please refer to the “AIBO” ERS-210/220 operation manual.



Introduction

Have you finished installing the AIBO Navigator 2 software?

If not, refer to the Setup Guide to install AIBO Navigator 2 and set up a wireless LAN.

You can now, actually operate AIBO ERS-210/220 by remote control.

This User's Guide describes how to start up AIBO Navigator 2 and provides information on the main Control panel and how to operate AIBO by remote control.

* In this manual, ERF-220AW05 is referred to as AIBO Navigator 2.



Starting up AIBO Navigator 2

Turn on your PC and AIBO, and then start up AIBO Navigator 2.

Notes

If your PC connects to the Internet using a modem, depending on its configuration, the PC may automatically dial to check the Internet connection when you start up AIBO Navigator 2.

To disable the dial-up connection, you need to make the following setting:

- ① Click Start–Settings–Control Panel on the Task-bar.
- ② Double-click the Internet Options icon.
- ③ Under Dial-up settings on the Connections tab, click Never dial a connection.
- ④ Click OK.

1 Turn on your PC.

Turn on your PC and start up Windows.

2 Turn on AIBO.

Insert the “Memory Stick” into AIBO and activate AIBO.

- ① **Insert the AIBO Navigator 2 “Memory Stick” into AIBO.**
For details, please refer to the instruction manual for AIBO.
- ② **Press the pause button on AIBO to activate AIBO.**

3 Start up AIBO Navigator 2.

- ① **Double-click the short-cut icon on the desktop or select Start–Programs–AIBO Navigator 2–AIBO Navigator 2 on the Task-bar.**

The User Authentication dialog box appears. (If the user ID and password were not specified during setup, the User Authentication dialog box will not appear.)

- ② **Enter the user ID and password that were specified when setting up the wireless LAN (see page 17 in the Setup Guide), and then click OK.**

If you check the Save password box, you need not enter the ID or password the next time.

The Control panel appears.

Main panel



Sub panel

The Control panel consists of the “Main panel” and “Sub panel.” It is possible to open the Main panel only.



Quitting AIBO Navigator 2

Quit AIBO Navigator 2 on both the PC and AIBO.

1 Do either of the procedures below to quit AIBO Navigator 2.

- In the Main panel, click .
 - Right click in the metallic-gray area in the Control panel, and then choose Exit from the menu.
-

2 Press the pause button on AIBO's chest to pause AIBO, and then remove the "Memory Stick."

For details on removing the "Memory Stick," please refer to the instruction manual for AIBO.

AIBO's modes and how to resume normal operation

If an object gets caught in AIBO's joints or AIBO is picked up and AIBO Navigator 2 operation is interrupted, follow the procedure below to restore AIBO to remote control.

For the ERS-220

Normal mode
AIBO moves as instructed by remote control.



Notes

- Do not use AIBO in places subject to vibrations, on an incline, or at a place where it might drop.
- Do not surround AIBO with objects that may obstruct its movements.

Something is caught any of AIBO's joints

Push the head-touch sensor in the rear direction for 3 seconds

If an object gets jammed in AIBO's neck or leg joint, AIBO loosens up all of its joints. This is to prevent accidental injury in case you catch your finger in one of its joints. In this condition, AIBO's mode indicator will flash.

To return AIBO to normal, push the head-touch sensor in the rear direction for 3 seconds.

Jam condition

All of the joints loosen up when an object gets caught in a joint.

Flashes



AIBO is picked up

Put AIBO down on the floor, or push its head-touch sensor in the rear direction for 3 seconds

When you pick AIBO up, it assumes a condition that makes it easier to be held and lights its mode indicator.

To return AIBO to normal, put AIBO back on the floor. If AIBO doesn't return to normal after a while, push its head-touch sensor in the rear direction for 3 seconds.

Pick-up condition

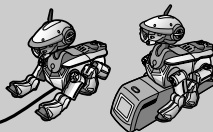
Lights



To charge the battery pack

Press the pause button on AIBO's chest to pause AIBO.

Charge the battery with the AC adapter supplied with AIBO or with an Energy Station (optional). For details, refer to the operating instructions for AIBO or the Energy Station.



Note

AIBO is in suspended animation while it is being charged or on the Energy Station. AIBO does not respond to your instruction in these situations.

For the ERS-210

Normal mode

AIBO moves as instructed by remote control.



Notes

- Do not use AIBO in places subject to vibrations, on an incline, or at a place where it might drop.
- Do not surround AIBO with objects that may obstruct its movements.

Something is caught any of AIBO's joints

Press the head sensor for 3 seconds

If an object gets jammed in AIBO's neck or leg joint, AIBO loosens up all of its joints. This is to prevent accidental injury in case you catch your finger in one of its joints. In this condition, AIBO's mode indicator will flash.

To return AIBO to normal, press the head sensor for 3 seconds.

Jam condition

All of the joints loosen up when an object gets caught in a joint.



AIBO is picked up

Put AIBO down on the floor, or press the head sensor for 3 seconds after putting it down on the floor

When you pick AIBO up, it assumes a condition that makes it easier to be held and lights its mode indicator.

To return AIBO to normal, put AIBO back on the floor. If AIBO doesn't return to normal after a while, press its head sensor for 3 seconds.

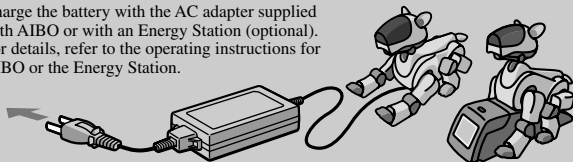
Pick-up condition



To charge the battery pack

Press the pause button on AIBO's chest to pause AIBO.

Charge the battery with the AC adapter supplied with AIBO or with an Energy Station (optional). For details, refer to the operating instructions for AIBO or the Energy Station.



Note

AIBO is in suspended animation while it is being charged or on the Energy Station. AIBO does not respond to your instruction in these situations.



Description of Control panel parts

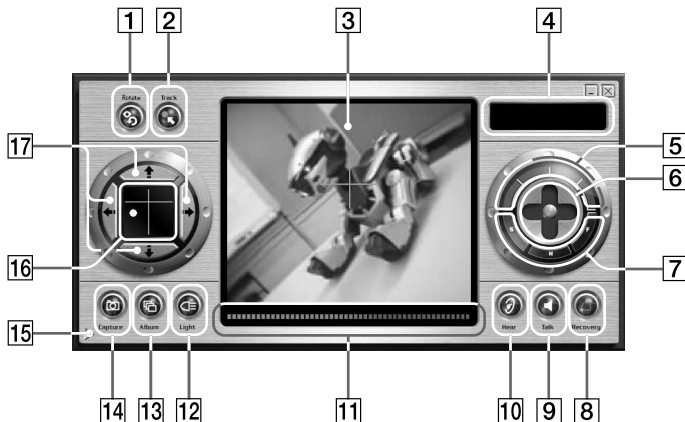
The Control panel allows you to operate AIBO by remote control from your PC screen.

The Control panel consists of the Main panel and Sub panel.

Main panel

The Main panel is the first panel to appear when AIBO Navigator 2 starts up. It shows the results of controller or keyboard operations.

Move the panel by dragging it with your mouse.



1 Rotate button

Click to make AIBO align its body with the camera angle. When you do this, the camera angle returns to the front (page 28).

2 Track button

Each time you click this button, the tracking function switches on or off. When the tracking function is switched on, AIBO starts chasing for the pink ball (page 37).

3 Camera monitor

Shows the scene being picked up by AIBO's camera.

4 Status indicator

Indicates AIBO's current status.

5 Battery indicator

Indicates the charge level of AIBO's battery pack (four levels).

6 Direction control

Controls the direction of AIBO's movement.

Click the dark gray ends of the arms to move AIBO in the respective direction. Click the center of the cross to stop AIBO (page 24).

7 Pace buttons

Select how fast you want AIBO to walk: fast (F), normal (N) or slow (S) (page 25).

8 Recovery button

Restores AIBO from a fall (page 26).

9 Talk button

This button transmits sound data from your PC for playback by your AIBO (page 32).

10 Hear button

Each time you click this button, the function switches on or off. When the function is switched on, sound picked up by AIBO is transmitted to your PC (page 35).

11 Object sensor

Indicates the distance between AIBO and the object pointed to by the + mark in the Camera monitor

3.

12 Light button

Each time you click this button, the headlight function switches on or off. When the function is on, the retractable headlight on the ERS-220 lights up.

Only available on ERS-220 (page 40).

13 Album button

Displays the Album window (page 30).

14 Capture button

Click this button to capture the current scene from AIBO's camera as a still-picture (page 29).

15 Sub panel indicator

Click to close the Sub panel. Click again to open the Sub panel again (page 17).

16 Camera angle screen

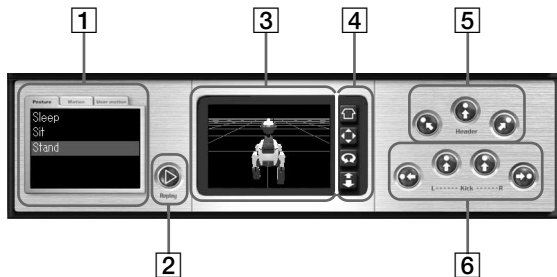
The angle of AIBO's camera is indicated by the yellow lines. The location of the pink ball is indicated when it is detected (page 27).

17 Camera angle buttons

Finely adjusts AIBO's camera angle (page 27).

Sub panel

Use the Sub panel to make AIBO to do a kicking or heading motion, or to replay a motion. The Sub panel usually appears under the Main panel, but you can close it. (see **15** in the “Main panel” section.)



1 Motion menu

Select the tab, and then select the motion to be played back (page 36).

2 Replay button

AIBO plays back the last motion (page 36).

3 3D AIBO screen

Shows a 3D image of AIBO and its current posture. AIBO's sensors appear when they are touched. The 3D image may not always match AIBO's movements exactly.

4 3D AIBO view button

Click to change the perspective of the 3D image. Only the perspective of the image changes; AIBO itself does not move.



View home position button

Resets the perspective of the 3D image of AIBO to the home position.

Set the home position in the Properties dialog box (page 19).



View pan button

Shifts AIBO's 3D image. Drag the mouse in the 3D AIBO screen to shift the image.



View rotate button

Rotates the 3D image of AIBO. Drag the mouse to view AIBO's current posture from another perspective.



View zoom button

Zooms in and out on the 3D image of AIBO.

5 Header buttons

Make AIBO do a heading action (page 39).

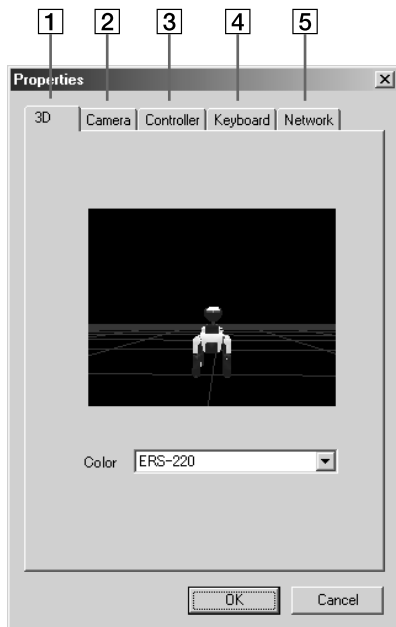
6 Kick buttons

Make AIBO do a kicking action (page 39).

Properties dialog box

Use this box to set the various preferences for remote control operation.

To open the Properties dialog box, right click in the metallic-gray area in the Control panel, and then click Properties in the menu that appears.



1 3D tab

Sets the home position of the 3D image of AIBO.

Drag the 3D image in the screen to the perspective you want, and then click OK.

Selects the body color of the 3D image of AIBO.

The color you select from the Color list will be displayed the next time AIBO Navigator 2 is started up.

Note

You cannot select the body color when using the ERS-220.

2 Camera tab

Sets the picture quality of the camera (page 31).

Sets the number of times you want AIBO to search for the pink ball (page 38).

3 Controller tab

Assigns AIBO's actions to the controller buttons (page 22).

4 Keyboard tab

Assigns AIBO's actions to the keyboard (page 23).

5 Network tab

Sets the AIBO's IP address (see the Setup Guide).



Controlling AIBO

AIBO is controlled from the Control panel.

You can control the nine functions listed below:

- Walking (page 24)
- Changing the camera angle and capturing a still-picture (page 27)
- Having AIBO play back sound data from your PC (page 32)
- Transmitting sound picked by AIBO to your PC (page 35)
- Playing back a motion (page 36)
- Chasing after the ball (page 37)
- Heading and kicking the ball (page 39)
- Turning on the retractable headlight (page 40)
- Using motion data created with AIBO Master Studio (page 41)

There are three ways to control AIBO:

- Clicking buttons in the Control panel
- Using a controller (available commercially)
- Using the keyboard

Assigning actions to controller buttons

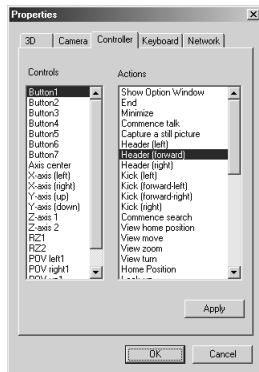
- 1** Right click in the metallic-gray area in the Control panel, and then click **Properties**.

The Properties dialog box appears.

- 2** Click the **Controller** tab.

- 3** From the **Controls** list, select the key, button or joystick direction to which you want to assign a function and from the **Actions** list, select the action to be assigned.

The contents of the Controls list will vary depending on the controller that is connected.



- 4** Click **OK**.

The assignment is now complete.

When you operate the button, key or joystick to which you assigned the action, AIBO will do the respective action.

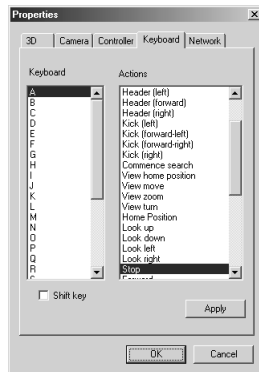
Assigning actions to keyboard keys

- 1** Right click in the metallic-gray area in the Control panel, and then click **Properties**.

The Properties dialog box appears.

- 2** Click the **Keyboard** tab.

- 3** From the **Keyboard** list, select the key to which you want to assign a function, and from the **Actions** list, select the action to be assigned.



- 4** Click **OK**.

The assignment is now complete.

When you press the key to which the action has been assigned, AIBO will do the respective action.

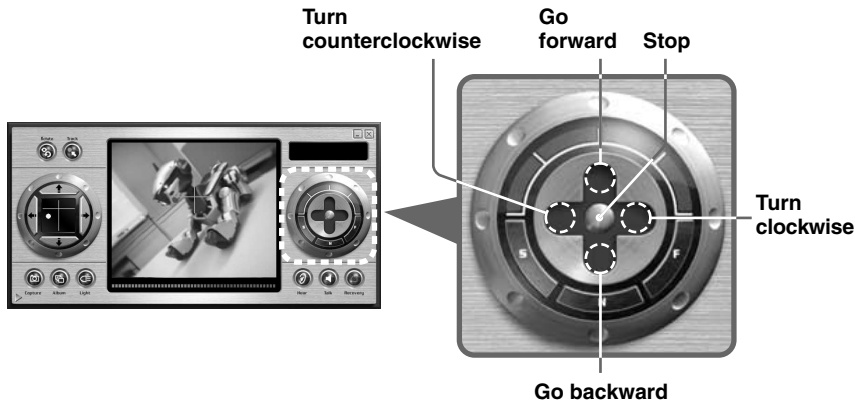


Moving AIBO

There are three ways to make AIBO move or stop.

Using the mouse

Click the end of the Direction control arms. Once clicked, AIBO keeps moving in the selected direction until you click the center of the cross to stop it.



Using a controller

Push and hold the joystick or hold down a direction key. AIBO will keep moving in the selected direction until you release the joystick or key.

Using the keyboard

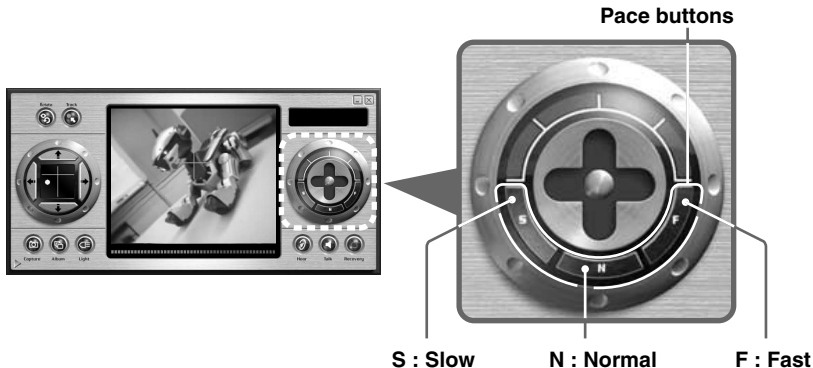
Press the key for the direction you want and AIBO will move in the specified direction.

Once the key is pressed, AIBO will keep moving until you press the key for stopping AIBO.

Changing AIBO's walking speed

You can choose three speeds: fast (F), normal (N) or slow (S).

To select a speed, click one of the Pace buttons in the Main panel or use the keyboard or controller.



If AIBO falls down

When operated by AIBO Navigator 2, AIBO cannot recover from a fall by itself. If AIBO falls down, help AIBO get up by clicking Recovery in the Main panel or by using the keyboard or controller.

If you cannot help AIBO to get up by remote control, set AIBO upright with your hand.



Recovery button



Adjusting the camera angle/ Capturing still-pictures

The scene picked up by AIBO's camera appears on the Camera monitor. You can adjust the camera angle and also capture still-pictures.

Adjusting the camera angle

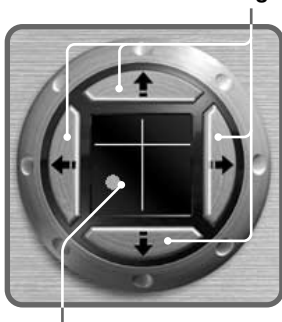
Click anywhere in the Camera angle screen.

The camera angle moves to the clicked position.

Click the Camera Angle buttons to finely adjust the angle. The current angle is indicated in the Camera angle screen.

You can also use a controller or keyboard that has been programmed with this function.*

Camera angle buttons



Camera angle screen

Camera monitor



* In this case, release the button or joystick when you reach the angle that you want.

Aligning AIBO with the camera angle

You can have AIBO align its body in the same direction as the camera. When you do this, the camera angle returns to the front.

Click the Rotate button in the Main panel.

Rotate button



You can also use a controller or keyboard that has been programmed with this function.

In addition to the step above, you can move AIBO forward by clicking an top arm in the Direction control (page 24).

Note

The body may not be aligned in the same direction as indicated by the camera depending on the current camera angle.

Capturing still-pictures

You can capture the scene being viewed by AIBO as a still-picture.

Notes

- Sony is not responsible for any rights-infringement disputes and other issues that may arise between you and another person or entity resulting from a still picture saved with AIBO. Do not save any still pictures that may infringe on another person's or entity's rights.
 - Taking still pictures of performances or exhibitions may be restricted regardless of whether such material is for private use or not.
-

Click Capture in the Main panel.

You can also use a controller or keyboard that has been programmed with the Capture picture function.

AIBO takes a picture after it receives the signal to do so. Pictures can be taken again and again (by sending signals to do so again and again).

Still pictures are saved in the Album window. If you take more than 99 pictures, the newest picture will replace the oldest one in the album. See “Sorting pictures in an album” in the next section and save pictures to another folder, if necessary.

About picture quality

- The quality of a saved still-picture depends on the setting in the Properties dialog box (page 31).
High : Approx. 180×140 pixels.
Standard : Approx. 90×70 pixels.
- Depending on the lighting conditions, horizontal lines may appear in the still-picture or the still-picture may have a red or blue hue.
- A still-picture of a fast-moving object captured by AIBO may appear blurry.

Sorting pictures in an album

You can save or delete the images in an album.

1 Click Album in the Main panel.

The Album window appears.



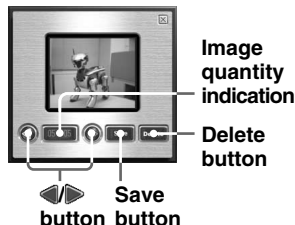
2 Click ◀ or ▶ to select the image.

To save the image, click Save.

In the indicated dialog box, specify the save destination and the file name, and then click OK.

To delete the image, click Delete.

The selected image is deleted.



Changing the picture quality

You can change the picture quality of the camera. Specify the setting in the Properties dialog box.

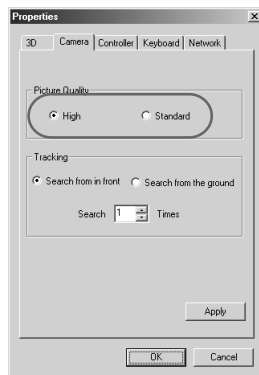
1 Right click to the metallic-gray area in the Main panel, and then click Properties.

The Properties dialog box appears.

2 Click the Camera tab.

3 Select the picture quality.

Select High or Standard.



4 Click OK.



Playing back sound data

AIBO can play back sound data.

You can record sound on the PC for AIBO to play back, or you can have AIBO play back sound data that has already been saved on the PC.

Only WAVE files can be played back with AIBO Navigator 2. The sound format must be 8-kHz, 8-bit, monaural PCM and the maximum playback time is fifteen seconds.

Recording sound on the PC and playing it back

1 Click Talk in the Main panel.

You can also use a controller or keyboard that has been programmed with the Talk function.

The Record dialog box appears.



Talk button

2 Click .

Recording begins. Direct the sound toward the microphone on the PC. You can record for up to fifteen seconds. After fifteen seconds, recording ends.



To stop recording before fifteen seconds have elapsed, click .

To check the recorded sound, click .

The PC plays back the recorded sound.

To rerecord, click  again and record the sound.

3 Click OK.

AIBO plays back the recorded sound data.

The Record dialog box cannot be used to save the recorded sound.

Playing back sound data saved on the PC

1 Click Talk in the Main panel.

You can also use a controller or keyboard that has been programmed with the Talk function.
The Record dialog box appears.



Talk button

2 Click Browse.

The Open dialog box appears.

3 Select the WAVE file you want to play back, and then click OK.

The path to the selected WAVE file appears in the File box in the Record dialog box.

To check the sound data, click .

The PC plays back the sound file that was selected.



4 Click OK.

AIBO plays back the selected sound data.



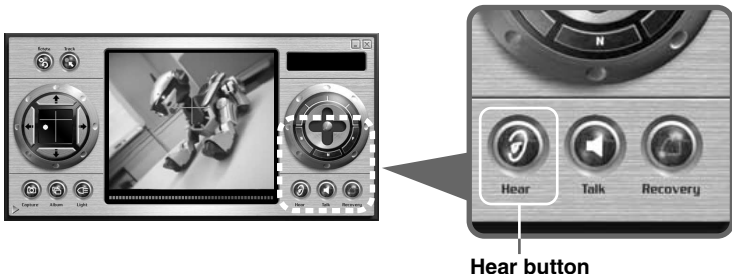
Transmitting sound

You can transmit sound that is picked up by AIBO and listen to it on your PC.

Click Hear in the Main panel to turn on the function.

You can also use a controller or keyboard that has been programmed with the Hear function.

The sound which AIBO picks up is transmitted to the PC and output through the PC's speakers.



To stop transmitting sound, click Hear again to turn off the function.

Note

Sound that is transmitted from AIBO cannot be saved as a data file on your PC.



Playing back a motion

AIBO can play back a number of built-in motions.

1 Click Sub panel indicator in the Main panel.

2 Select a motion from the Motion menu.



The motions are placed under separate tabs according to category.

Click a tab to select the motion you want to play back.

Posture	Sleep, Sit, Stand
Motion	Supplied motions. (cannot be modified)
User motion	Changeable motion data produced using the optional AIBO Master Studio software. (Normally only one motion is registered under different names.) See page 41 on how to store another the motion.

AIBO plays back the selected motion.

Click Replay to make AIBO repeat the motion that it just did.

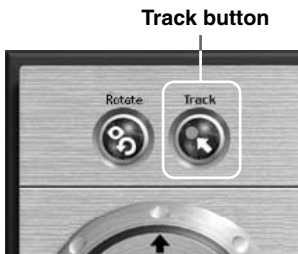


Chasing after the ball

AIBO searches for the pink ball, and when it finds it, automatically starts chasing after it.

Click Track in the Main panel to switch the function on.

You can also use a controller or keyboard that has been programmed with the Tracking function.



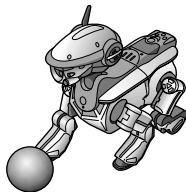
If “Search from in front” is selected under the Camera tab in Properties, AIBO starts searching for the ball in front of itself.

If “Search from the ground” is selected, AIBO starts searching from the ground up.

AIBO searches for the pink ball for the preset number of times. If it still cannot find the pink ball, the Track button is switched off.

To stop AIBO from chasing after the ball, click Track again to turn the function off.

If AIBO loses sight of the ball while chasing after it, the camera angle is reset to the home position and the Track button is switched off.



Setting the number of times AIBO searches for the ball

Set the number of times you want AIBO to search for the pink ball.

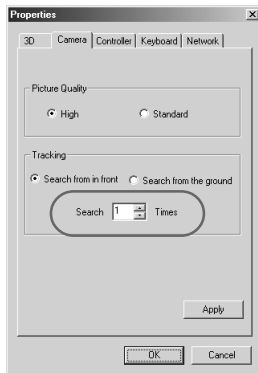
1 Right click in the metallic-gray area in the Main panel, and then click Properties.

The Properties dialog box appears.

2 Click the Camera tab.

3 Enter the number of times that you want AIBO to search.

You can enter a number from 1 to 10.



4 Click OK.

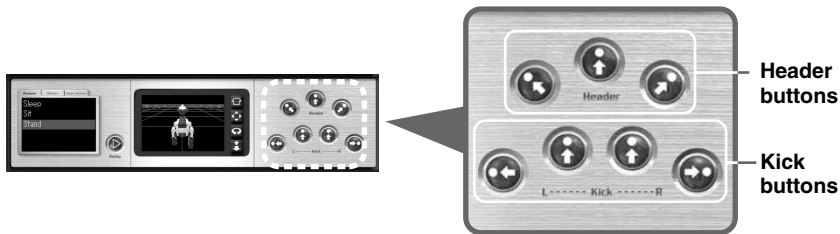


Kicking/heading

AIBO kicks with its front legs or makes a heading motion.

Click the Kick or Header buttons in the Sub panel.

You can also use a controller or keyboard that has been programmed with the Kicking or Heading function.



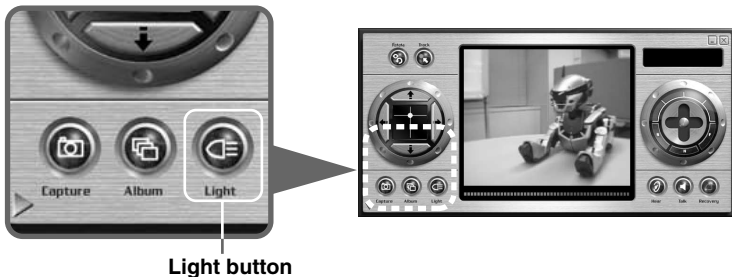


Turning on the retractable headlight

You can turn on the retractable headlight on the ERS-220.

Click Light in the Main panel.

You can also use a controller or keyboard that has been programmed with the Light function.



Light button

To turn off the retractable light, Click Light again to turn the function off.

Note

Keeping your eyes on the headlight for an extended period of time may be harmful to the eyes.



Using motion data made by AIBO Master Studio

You can replace the user motion with axf-format motion data exported from AIBO Master Studio.

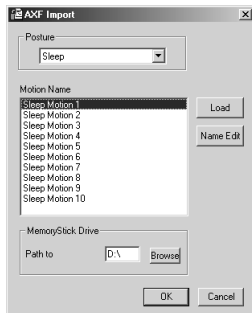
Notes

- This software supports the axf-format motion data made for the ERS-210/220 using AIBO Master Studio version 1.1 or later.
- You need the “Memory Stick” Reader/Writer to use this function.
- If the starting posture is different from the ending posture in the axf format data, you cannot use the data.

1 Insert the AIBO-ware “Memory Stick” that came with AIBO Navigator 2 into the “Memory Stick” Reader/Writer.

2 Select Start-Program-AIBO Navigator 2-AXF Import.

When you select the model, the AXF Import box appears.



3 In the “Memory Stick” drive box, select the drive to which the “Memory Stick” Reader/Writer is assigned.

4 Select the basic posture in axf format (Sleep, Sit or Stand).

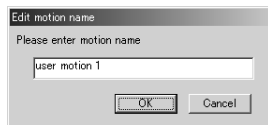
For each posture, ten items are provided in the Motion list. (In the beginning, the same motion is registered for each item. These ten items can be replaced.)

5 In the Motion list, select the user motion (currently registered) that you want to replace.

6 Click Open to select the axf-format file in the dialog box.

Edit the name of the motion that appears.

7 Enter the motion name that you want to register, and then click OK.



8 Repeat steps 4 to 7 to replace more motion items.

9 Click OK in the AXF Import box.

The specified user motion on the “Memory Stick” for AIBO Navigator 2 is replaced.

Click Cancel in the AXF Import box to cancel the replacement.

10 Remove the “Memory Stick” from the “Memory Stick” Reader/Writer.

Note

After making sure the “Memory Stick” Reader/Writer is not reading or accessing the “Memory Stick,” remove the “Memory Stick.”

The motion data is now indicated under the User motion tab (page 36) in the Motion menu, and can be selected for playback.



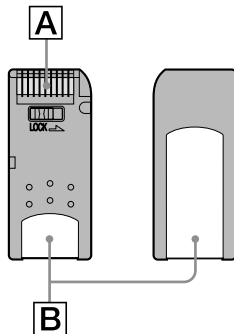
Notes on use

To protect the saved data on the “Memory Stick,” observe the following:

- The AIBO-ware “Memory Stick” that comes with AIBO Navigator 2 can also be used with AIBO ERS-210/220. However, it may not operate normally depending on the combination of units used to compose AIBO.

In addition, do not use it with other equipment than AIBO such as a PC or camcorder.

- Do not touch terminal [A] with your hand or metal objects.
- The saved data may be erased or broken if the “Memory Stick” is used in a place subject to static electricity or electrical noise.
- Do not stick anything other than a dedicated “Memory Stick” sticker in the area indicated by [B]. A sticker has already been attached to the AIBO-ware “Memory Stick” supplied with AIBO Navigator 2 at the factory.
- Do not bend, drop or apply a strong physical shock to the “Memory Stick.”
- Do not disassemble or modify the “Memory Stick.”
- To remove the “Memory Stick” from AIBO while it is still operating, first press the pause button to stop AIBO’s movements and wait until the lock indicator turns to white.



- Keep the “Memory Stick” away from water and other liquids.
- Do not use or store the “Memory Stick” in places subject to:
 - Excessively high temperatures, such as a car parked in the sun
 - Direct sunlight
 - High humidity or corrosive gas.
- When carrying or storing the “Memory Stick,” keep it in the supplied case.
- AIBO Navigator 2 is designed for use with the “AIBO” ERS-210/220. It cannot be used with the “AIBO” ERS-310 series or 110/111.
- AIBO Navigator 2 cannot be used except through the AIBO-ware “Memory Stick” on which it is supplied.
- Sony assumes no responsibility for any malfunctions that may occur as a result of using AIBO Navigator 2 in a way not specified in this manual.
- The specifications of this software are subject to change without notice.

What is an AIBO-ware “Memory Stick”?

It is a “Memory Stick” produced for exclusive AIBO use, on which is stored application software that can be executed on an AIBO.



Troubleshooting

If you experience any of the following difficulties, use this troubleshooting guide to remedy the problem. Also, refer to the “AIBO” ERS-210/220 operating instructions to check AIBO entirely and its sensor condition in Clinic mode. Should the problem persist, please contact the AIBO Customer Link.

Symptom	Remedy
AIBO does not move as instructed.	• Heat may have built up in the battery pack. → Wait for a while until the battery pack becomes cool. • The wireless LAN settings are incorrect. → Check the settings (see the Setup Guide). • AIBO is outside the range of wireless LAN communication. → Move AIBO closer to the PC or access point. • AIBO is jammed or otherwise unable to recover by itself. → Restore AIBO to remote control (page 12, 13). AIBO does not respond to remote control when its battery is being charged or it is on the Energy Station.

Symptom	Remedy
AIBO emits a sad melody and does not move when the pause button is released.	• The “Memory Stick” with AIBO-ware is not inserted into AIBO. • The inserted “Memory Stick” is not intended for use with AIBO. • The battery power is low. → Check the battery power level (see the “AIBO” ERS-210/220 instruction manual). If necessary, recharge the battery pack or insert a charged battery pack. • The AC adaptor and conversion plug are connected to AIBO’s charging terminal. → Disconnect the AC adaptor and conversion plug from AIBO, and then restart AIBO.
The chest light does not turn off when you press the pause button to make AIBO pause.	• There is a problem with the internal program. → Check that the battery pack lock indicator is white and remove the battery pack (see the “AIBO” ERS-210/220 instruction manual). Reinsert the battery pack and then press the pause button once more.
The battery pack is locked and cannot be replaced.	• The program is running. → Press the pause button to quit the program.

Symptom	Remedy
AIBO asks to be charged even with a fully charged battery pack.	• If the battery pack continues to operate for a much shorter period, the battery pack may be reaching the end of its service life. Replace it with a new battery pack (see the “AIBO” ERS-210/220 instruction manual).
AIBO cannot be controlled via the wireless LAN. AIBO does not stop moving.	• The AIBO Wireless LAN Card is not inserted in AIBO. → Insert the AIBO Wireless LAN Card in AIBO. • The IP address for the wireless LAN is not set. → The IP address of the AIBO Wireless LAN card inserted in AIBO needs to be registered in AIBO Navigator 2 (see the Setup Guide). • The PC is not set up for LAN communication. → Check that a wireless LAN card is inserted in the PC or that the PC connects to a wireless LAN access point.
It takes a long time for AIBO to start moving.	• AIBO is loading data from the “Memory Stick.” Wait a while.
AIBO tries to walk but it does not move forward.	• The floor may be too slippery. → Place AIBO on a surface that is not too slippery, such as a carpet with a short nap.

Symptom	Remedy
AIBO falls often.	The floor may be too slippery, inclined or unstable. → Place AIBO on a flat surface that is not too slippery.
AIBO stops in mid-movement.	- AIBO's motors are strained. → If you continue operation while the motors are strained, AIBO may automatically stop. To return AIBO to normal, push the head-touch sensor in the rear direction for 3 seconds. (In the case of the ERS-210, press the head sensor for 3 seconds.) - AIBO is heating up. → The chest light goes off and AIBO stops moving. Do not operate AIBO until it cools down.
After picking AIBO up, it stops moving its legs and otherwise moves very slowly.	AIBO stops moving whenever it is picked up from the floor. → Check that the mode indicator lights and place AIBO on the floor. After a while if AIBO still does not move, push the head-touch sensor in the rear direction for 3 seconds. (In the case of the ERS-210, press the head sensor for 3 seconds.)
The mode indicator is flashing and AIBO emits musical tones, but it does not walk.	AIBO's joint is jammed. → Place AIBO on the floor and push the head-touch sensor in the rear direction for 3 seconds. (In the case of the ERS-210, press the head sensor for 3 seconds.)

Symptom	Remedy
The chest light flashes in orange.	There is a problem with the battery pack. → Replace the battery pack with a new one (see the “AIBO” ERS-210/220 instruction manual).
You cannot adjust AIBO’s camera to the angle you want.	The adjustment range of the camera angle differs according to AIBO’s posture.
WAVE data is not accurately reproduced.	→ Check that the data is in a format that can be used (page 32).
WAVE data is not played to the end.	Only fifteen seconds can be played back.
Talk was clicked to specify the sound data, but no sound is heard from AIBO.	- The volume may be set to mute. → Adjust the volume level (see the “AIBO” ERS-210/220 instruction manual). - The sound may not have been picked up by the microphone on the PC. → To record, direct the sound toward the microphone on the PC.

Symptom	Remedy
Hear was clicked, but no sound is heard from the PC.	• The volume on the PC may be set to mute. → Adjust the volume.

Avis aux utilisateurs

©2001 Sony Corporation Tous droits réservés. Le présent manuel et le logiciel qui y est décrit ne peuvent être reproduits, traduits ou réduits, en tout ou en partie, sous quelque forme compréhensible pour une machine que ce soit sans l'autorisation écrite préalable de Sony Corporation.

MIS A PART LES ELEMENTS CLAIEMENT SPECIFIES DANS LE CONTRAT DE LICENCE DU LOGICIEL, SONY CORPORATION FOURNIT CE MANUEL, LE LOGICIEL ET LES INFORMATIONS QUI Y SONT CONTENUES "EN L'ETAT" SANS GARANTIE SONY CORPORATION REJETTE TOUTE GARANTIE IMPLICITE DE COMMERCIALISATION OU D'APTITUDE AU SERVICE A DES FINS PARTICULIERES EN CE QUI CONCERNE CE MANUEL, LE LOGICIEL OU TOUTE AUTRE INFORMATION. EN AUCUN CAS, SONY CORPORATION NE POURRA ÊTRE TENU RESPONSABLE D'UN

QUELCONQUE DOMMAGE DIRECT, INDIRECT OU SPÉCIAL RÉSULTANT D'UN DÉLIT, D'UN CONTRAT OU D'UNE AUTRE CAUSE, DANS LE CADRE DE OU EN RAPPORT AVEC CE MANUEL, LE LOGICIEL OU TOUTE AUTRE INFORMATION QUI Y FIGURE OU L'UTILISATION QUI EN EST FAITE.

Sony Corporation se réserve le droit d'apporter à tout moment et sans préavis des modifications au présent manuel ou aux informations qu'il contient. Le logiciel décrit dans le présent manuel peut également être régi par les dispositions d'un contrat de licence utilisateur séparé.

Ce produit contient un logiciel qui est la propriété de Sony et cédé en licence par des tiers. L'utilisation de ce logiciel est régie par les conditions des accords de licence qui accompagnent ce produit. Les spécifications logicielles sont sujettes à modifications sans préavis et peuvent être différentes des versions actuellement commercialisées.

Avant d'utiliser ce logiciel, lisez le contrat de licence de l'utilisateur final, qui régit l'utilisation de ce logiciel.

- Ce logiciel ou document est protégé par des droits d'auteur, et distribué sous licences limitant son emploi, la reproduction et la distribution. Aucune partie de ce logiciel ou document ne peut être reproduite sous quelque forme que ce soit ni par quelque moyen que ce soit, et la location de ce logiciel peut ne pas être autorisée sans l'approbation préalable de Sony Corporation.
- Sony Corporation n'assume aucune responsabilité pour l'inconfort causée par un usage abusif ou toute utilisation non prescrite dans ce document.
- Le logiciel fourni n'est utilisable avec aucun dispositif autre que ceux spécifiés.
- Les spécifications du logiciel fourni sont sujettes à modification sans préavis.



OPEN-R

“OPEN-R” est l’interface standard du robot de compagnie pour lequel Sony mène une campagne de promotion active. Cette interface étend les capacités du robot de compagnie en associant subtilement matériels et logiciels interchangeables pour l’adapter à différentes applications.

“AIBO Navigator 2” est conforme à la version 1.1.2 OPEN-R (spécifications relatives au logiciel).

“AIBO”, le logo AIBO , “OPEN-R” et le logo OPEN-R  sont des marques déposées de Sony Corporation.

“Memory Stick”,  et “**MEMORY STICK**” sont des marques de Sony Corporation.

Microsoft, Windows et Direct X sont des marques déposées de Microsoft Corporation aux Etats-Unis et dans d’autres pays.

Tous les autres noms de systèmes ou de produits mentionnés dans ce document sont les marques ou les marques déposées de leurs sociétés respectives.

Dans ce mode d’emploi, les indications “TM” et “®” n’apparaissent pas.

Vous trouverez d’autres informations concernant AIBO sur Internet à l’adresse suivante :

<http://www.aibo.com/>

La reproduction de tout ou partie de ce document sans autorisation écrite est interdite. Tous droits réservés.



Table des matières

Introduction	7
Lancement de AIBO Navigator 2	8
Quitter AIBO Navigator 2	11
Modes d'AIBO et méthode pour revenir en fonctionnement normal	12
Pour l'ERS-220	12
Pour l'ERS-210	13
Description des éléments du panneau Control (Commande)	14
Panneau principal	14
Panneau secondaire	17
Boîte de dialogue Properties (Propriétés)	19
Commande d'AIBO	21
Affectation d'actions aux boutons du contrôleur	22
Affectation d'actions aux touches du clavier	23
Déplacement d'AIBO	24
A l'aide de la souris	24
A l'aide du contrôleur	25
A l'aide du clavier	25
Modification de la vitesse de déplacement d'AIBO	25
Si AIBO tombe	26

Réglage de l'angle de la caméra/Enregistrement d'images fixes	27
Réglage de l'angle de la caméra	27
Alignement d'AIBO avec l'angle de la caméra	28
Enregistrement d'images fixes	29
Tri de photos dans un album	30
Modification de la qualité d'une image	31
Reproduction de données son	32
Enregistrement de sons sur l'ordinateur et reproduction	32
Reproduction de données son sauvegardées sur l'ordinateur	34
Transmission de sons	35
Reproduction d'un mouvement	36
Course après la balle	37
Définir combien de fois AIBO doit rechercher la balle	38
Tirer/faire une tête	39
Allumage de la lampe escamotable	40
Utilisation de données de mouvement créées avec AIBO Master Studio	41
Remarques relatives à l'utilisation	44
Dépannage	46

Pour obtenir plus d'informations sur l'AIBO ERS-210/220 (noms des pièces, réglages, installation d'un "Memory Stick", précautions de sécurité, etc.), reportez-vous au mode d'emploi de l'AIBO ERS-210/220.



Introduction

Avez-vous terminé l'installation du logiciel AIBO Navigator 2 ?

Si ce n'est pas le cas, reportez-vous au Guide d'installation pour installer AIBO Navigator 2 et configurer un réseau local sans fil.

Vous êtes à présent en mesure de faire fonctionner AIBO ERS-210/220 à distance. Ce Guide de l'utilisateur décrit comment démarrer AIBO Navigator 2 et donne des informations sur le panneau Control (Commande) et sur la manière de faire fonctionner AIBO par commande à distance.

* Dans ce guide, l'ERF-220AW05 est désigné par le terme AIBO Navigator 2.



Lancement de AIBO Navigator 2

Mettez votre ordinateur et AIBO sous tension, puis démarrez AIBO Navigator 2.

Remarques

Si votre ordinateur se connecte à Internet via un modem, selon la configuration, il se peut qu'il procède automatiquement à une numérotation pour vérifier la connexion Internet lorsque vous lancez AIBO Navigator 2.

Pour désactiver la connexion automatique, vous devez procéder aux paramétrages suivants :

- ① Cliquez sur Démarrer-Paramètres-Panneau de configuration dans la barre des tâches.
- ② Double-cliquez sur l'icône Options Internet.
- ③ Sous Options de numérotation dans l'onglet Connexions, cliquez sur Ne jamais établir de connexion.
- ④ Cliquez sur OK.

1 Mettez votre ordinateur sous tension.

Mettez votre ordinateur sous tension et démarrez Windows.

2 Mettez AIBO sous tension.

Insérez le "Memory Stick" dans AIBO, puis activez-le.

- ① **Insérez dans AIBO le "Memory Stick" AIBO Navigator 2.**
Pour plus de détails, reportez-vous au mode d'emploi d'AIBO.
- ② **Appuyez sur la touche pause d'AIBO pour l'activer.**

3 Lancez AIBO Navigator 2.

- ① **Double-cliquez sur l'icône du raccourci placée sur le bureau ou cliquez sur Démarrer-Programmes-AIBO Navigator 2-AIBO Navigator 2 dans la barre des tâches.**

La boîte de dialogue User Authentication (Authentification utilisateur) apparaît. (Si l'ID et le mot de passe de l'utilisateur n'ont pas été définis au cours de la configuration, la boîte de dialogue User Authentication (Authentification utilisateur) n'apparaît pas.)

- ② **Saisissez l'ID utilisateur et le mot de passe que vous avez utilisés pour configurer le réseau local sans fil (Guide d'installation, page 17), puis cliquez sur OK.**

Si vous cochez la case Save password (Enregistrer le mot de passe), vous n'aurez pas besoin de saisir de nouveau l'ID ou le mot de passe lors de la prochaine session.

Le panneau Control (Commande) apparaît.

Panneau principal



Panneau secondaire

Le panneau Control (Commande) est constitué d'un panneau principal (Main panel) et d'un panneau secondaire (Sub panel). Il est possible d'ouvrir uniquement le panneau principal.



Quitter AIBO Navigator 2

Quittez AIBO Navigator 2 sur l'ordinateur et sur AIBO.

1 Suivez l'une des procédures ci-dessous pour quitter AIBO Navigator 2.

- Dans le panneau principal, cliquez sur .
 - Cliquez avec le bouton droit de la souris dans la zone grisée du panneau Control (Commande), puis choisissez Exit (Quitter) dans le menu.
-

2 Appuyez sur la touche pause située sur la poitrine d'AIBO, puis retirez le "Memory Stick".

Pour plus de détails sur la façon de procéder, reportez-vous au mode d'emploi d'AIBO.

Modes d'AIBO et méthode pour revenir en fonctionnement normal

Si un objet se prend dans les articulations d'AIBO ou si AIBO est soulevé du sol et interrompu en cours de fonctionnement de AIBO Navigator 2, suivez la procédure ci-dessous pour restaurer AIBO en mode de commande à distance.

Pour l'ERS-220

Mode normal

AIBO se déplace selon les instructions à distance.



Remarques

- N'utilisez pas AIBO dans des endroits soumis à des vibrations, sur un plan incliné ou à un endroit duquel il pourrait tomber.
- Ne placez pas AIBO dans un environnement où des objets peuvent entraver ses mouvements.

Quelque chose est coincé dans une des articulations d'AIBO

Poussez le capteur tactile vers l'arrière situé sur la tête pendant 3 secondes

Si un objet se coince dans l'articulation de la patte ou du cou d'AIBO, toutes ses articulations se relâchent. Ceci permet d'éviter toute blessure accidentelle, au cas où vous vous coinceriez un doigt dans l'une de ses articulations. Dans cette situation, l'indicateur de mode d'AIBO clignote. Pour qu'AIBO revienne en fonctionnement normal, poussez en arrière le capteur tactile situé sur la tête pendant 3 secondes.

Situation de blocage Il clignote

Les articulations se relâchent lorsqu'un objet se prend dans l'une d'elles.



AIBO est soulevé

Placez-le sur le sol ou poussez vers l'arrière le capteur tactile situé sur la tête pendant 3 secondes

Lorsque vous soulevez AIBO, il passe dans un mode vous permettant de le tenir plus facilement et l'indicateur de mode s'allume.

Pour qu'AIBO revienne en fonctionnement normal, replacez-le sur le sol. S'il ne revient pas en fonctionnement normal après un moment, poussez en arrière le capteur tactile situé sur la tête pendant 3 secondes.

Il s'allume

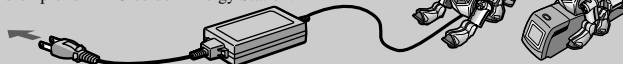
Condition de ramassage



Pour charger la batterie

Appuyez sur la touche pause située sur la poitrine d'AIBO et mettez-le en mode pause.

Chargez la batterie à l'aide de l'adaptateur secteur fourni avec AIBO ou d'une Energy Station (en option). Pour obtenir plus de détails, reportez-vous au mode d'emploi d'AIBO ou de l'Energy Station.



Remarque

Lorsque sa batterie est en cours de chargement ou qu'il se trouve sur l'Energy Station, AIBO ne bouge plus. AIBO ne réagit pas aux instructions dans ces situations.

Pour l'ERS-210

Mode normal

AIBO se déplace selon les instructions à distance.



Remarques

- N'utilisez pas AIBO dans des endroits soumis à des vibrations, sur un plan incliné ou à un endroit duquel il pourrait tomber.
- Ne placez pas AIBO dans un environnement où des objets peuvent entraver ses mouvements.

Quelque chose est coincé dans une des articulations d'AIBO

Appuyez sur le capteur de tête pendant 3 secondes

Si un objet se coince dans l'articulation de la patte ou du cou d'AIBO, toutes ses articulations se relâchent. Ceci permet d'éviter toute blessure accidentelle, au cas où vous coinceriez un doigt dans l'une de ses articulations. Dans cette situation, l'indicateur de mode d'AIBO clignote. Pour qu'AIBO revienne en fonctionnement normal, appuyez sur le capteur de tête pendant 3 secondes.

Situation de blocage Il clignote

Les articulations se relâchent lorsqu'un objet se prend dans l'une d'elles.



AIBO est soulevé

Placez-le sur le sol et appuyez sur le capteur de tête pendant 3 secondes après l'avoir posé au sol

Lorsque vous soulevez AIBO, il passe dans un mode vous permettant de le tenir plus facilement et l'indicateur de mode s'allume. Pour qu'AIBO revienne en fonctionnement normal, replacez-le sur le sol. S'il ne revient pas en fonctionnement normal après un moment, appuyez sur le capteur de tête pendant 3 secondes.

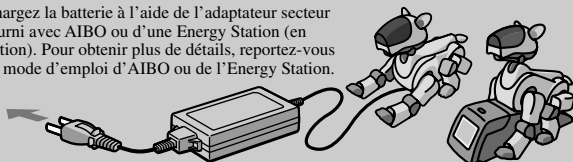
Condition de ramassage Il s'allume



Pour charger la batterie

Appuyez sur la touche pause située sur la poitrine d'AIBO et mettez-le en mode pause.

Chargez la batterie à l'aide de l'adaptateur secteur fourni avec AIBO ou d'une Energy Station (en option). Pour obtenir plus de détails, reportez-vous au mode d'emploi d'AIBO ou de l'Energy Station.



Remarque

Lorsque sa batterie est en cours de chargement ou qu'il se trouve sur l'Energy Station, AIBO ne bouge plus. AIBO ne réagit pas aux instructions dans ces situations.

Description des éléments du panneau Control (Commande)

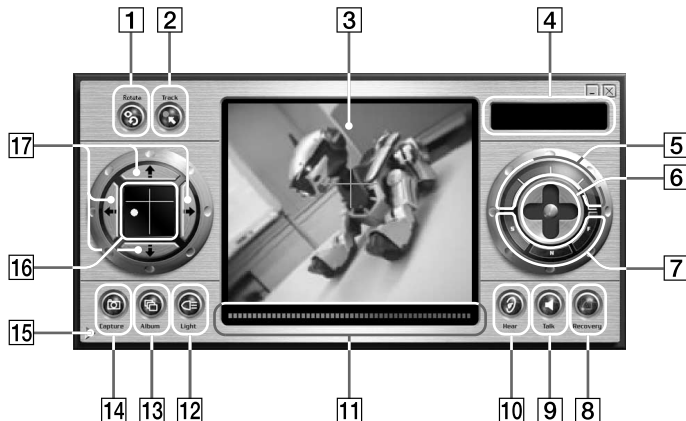
Ce panneau vous permet de commander AIBO à distance depuis l'écran de votre ordinateur. Le panneau Control (Commande) est constitué d'un panneau principal (Main panel) et d'un panneau secondaire (Sub panel).

Panneau principal

Le panneau principal est le premier à apparaître lorsque vous démarrez AIBO Navigator 2.

Il présente les résultats des opérations du contrôleur ou du clavier.

Déplacez le panneau en le faisant glisser avec la souris.



1 Bouton Rotate (Pivoter)

Cliquez dessus pour qu'AIBO aligne son corps sur l'angle de la caméra. Lorsque vous faites cela, l'angle de la caméra revient vers l'avant (page 28).

2 Bouton Track (Recherche)

Chaque fois que vous cliquez sur ce bouton, la fonction de recherche est activée ou désactivée. Lorsque la fonction de recherche est activée, AIBO commence à rechercher la balle rose (page 37).

3 Moniteur de la caméra

Affiche la scène filmée par la caméra d'AIBO.

4 Status indicator (Indicateur d'état)

Indique l'état d'AIBO.

5 Battery indicator (Indicateur de batterie)

Indique la charge restante de la batterie d'AIBO (quatre niveaux).

6 Commande Direction

Commande la direction des déplacements d'AIBO. Cliquez sur les extrémités (gris foncé) de la croix pour faire avancer AIBO dans la direction souhaitée. Cliquez au milieu de la croix pour arrêter AIBO (page 24).

7 Boutons Pace (Allure)

Sélectionnent l'allure à laquelle vous souhaitez qu'AIBO marche : rapide (F), normale (N) ou lente (S) (page 25).

8 Bouton Recovery (Redressement)

AIBO se relève d'une chute (page 26).

9 Bouton Talk (Parler)

Ce bouton transmet les données sonores à partir de l'ordinateur pour les faire lire par AIBO (page 32).

10 Bouton Hear (Entendre)

Chaque fois que vous cliquez sur ce bouton, la fonction est activée ou désactivée.

Lorsque la fonction est activée, le son enregistré par AIBO est transmis à l'ordinateur (page 35).

11 Capteur d'objet

Indique la distance entre AIBO et l'objet pointé par le repère + dans le moniteur de la caméra **3**.

12 Bouton Light (Lampe)

Chaque fois que vous cliquez sur ce bouton, la fonction lampe est activée ou désactivée. Lorsque la fonction est activée, la lampe escamotable de l'ERS-220 s'allume.

Disponible uniquement sur l'ERS-220 (page 40).

13 Bouton Album (Album)

Affiche la fenêtre Album (page 30).

14 Bouton Capture (Capturer)

Cliquez sur ce bouton pour sauvegarder la scène à partir de la caméra d'AIBO sous forme d'image fixe (page 29).

15 Indicateur du panneau secondaire

Cliquez dessus pour fermer le panneau secondaire. Cliquez de nouveau dessus pour rouvrir le panneau secondaire (page 17).

16 Ecran de l'angle de la caméra

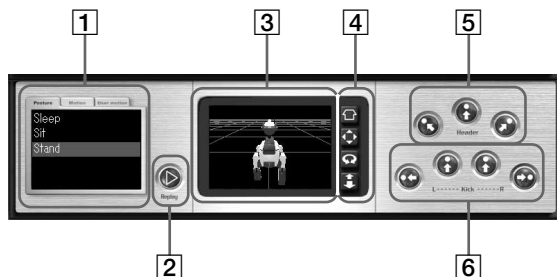
L'angle de la caméra d'AIBO est indiqué par les lignes jaunes. L'emplacement de la balle rose est indiqué lorsque celle-ci est détectée (page 27).

17 Boutons Camera angle (Angle de la caméra)

Ajuste précisément l'angle de la caméra d'AIBO (page 27).

Panneau secondaire

Utilisez le panneau secondaire pour qu'AIBO donne un coup de pied, bouge la tête ou exécute de nouveau un mouvement. Le panneau secondaire apparaît généralement sous le panneau principal, mais vous pouvez le fermer. (voir **15** dans la section "Panneau principal".)



1 Menu Motion (Mouvement)

Sélectionnez l'onglet, puis choisissez le mouvement à reproduire (page 36).

2 Bouton Replay (Répétition)

AIBO reproduit le dernier mouvement (page 36).

3 Ecran AIBO 3D

Montre une image en 3D d'AIBO et sa position actuelle. Les capteurs d'AIBO apparaissent lorsque vous les touchez.

Il se peut que l'image en 3D ne corresponde pas exactement aux mouvements d'AIBO.

4 Bouton 3D AIBO view (vue d'AIBO en 3D)

Cliquez dessus pour modifier la perspective de l'image en 3D. Seule la perspective de l'image change ; AIBO lui-même ne bouge pas.

Bouton View home position (Vue position de départ)

Réinitialise la perspective de l'image en 3D d'AIBO à la position de départ.
Définissez la position de départ dans la boîte de dialogue Properties (Propriétés) (page 19).

Bouton View pan (Vue panoramique)

Modifie l'image 3D d'AIBO. Faites glisser la souris dans l'écran AIBO 3D pour modifier l'image.

Bouton View rotate (Rotation)

Fait pivoter l'image 3D d'AIBO. Faites glisser la souris pour voir AIBO d'une autre perspective.

Bouton View zoom (Vue zoom)

Zoom avant/arrière de l'image 3D d'AIBO.

5 Boutons Header (Coup de tête)

AIBO donne un coup de tête (page 39).

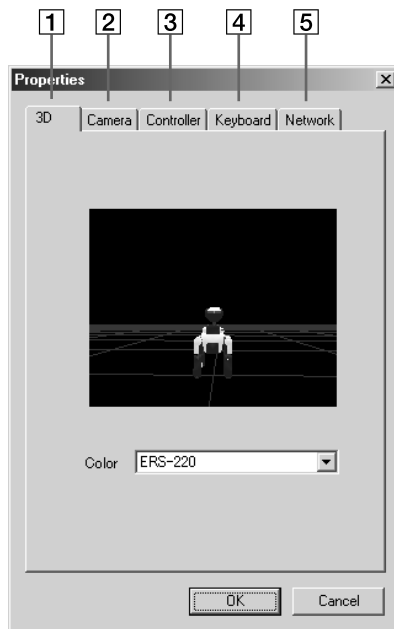
6 Boutons Kick (Coup de patte)

AIBO donne un coup de patte (page 39).

Boîte de dialogue Properties (Propriétés)

Définissez vos préférences pour l'utilisation de la télécommande.

Pour ouvrir la boîte de dialogue Properties (Propriétés), cliquez avec le bouton droit de la souris dans la zone grisée du panneau Control (Commande), puis cliquez sur Properties (Propriétés) dans le menu qui apparaît.



1 Onglet 3D (3D)

Définissez la position de départ de la perspective de l'image 3D d'AIBO.

Faites glisser l'image 3D dans l'écran pour obtenir la perspective de votre choix, puis cliquez sur OK (OK).

Sélectionnez la couleur du corps de l'image 3D d'AIBO.

La couleur que vous sélectionnez dans la liste Color (Couleur) sera activée lors du prochain lancement de AIBO Navigator 2.

Remarque

Il est impossible de sélectionner la couleur du corps lorsque l'ERS-220 est utilisé.

2 Onglet Camera (Caméra)

Définissez la qualité de l'image de la caméra (page 31).

Définissez combien de fois AIBO doit rechercher la balle rose (page 38).

3 Onglet Controller (Contrôleur)

Affectez des actions d'AIBO aux boutons du contrôleur (page 22).

4 Onglet Keyboard (Clavier)

Affectez des actions d'AIBO aux touches du clavier (page 23).

5 Onglet Network (Réseau)

Définissez l'adresse IP d'AIBO (Reportez-vous au Guide d'installation).



Commande d'AIBO

AIBO est commandé depuis le panneau Control (Commande).

Vous pouvez commander les neuf fonctions ci-dessous :

- Marche (page 24)
- Changement de l'angle de la caméra et sauvegarde d'une image fixe (page 27)
- Reproduction par AIBO de sons en provenance de votre ordinateur (page 32)
- Transmission de sons enregistrés par AIBO à votre ordinateur (page 35)
- Reproduction d'un mouvement (page 36)
- Course après la balle (page 37)
- Coup de tête/coup de patte dans la balle (page 39)
- Allumage de la lampe escamotable (page 40)
- Utilisation de données de mouvement créées avec AIBO Master Studio (page 41)

Il existe trois manières de commander AIBO :

- en cliquant sur les boutons du panneau Control (Commande)
- en utilisant un contrôleur (disponible dans le commerce)
- en utilisant le clavier

Affectation d'actions aux boutons du contrôleur

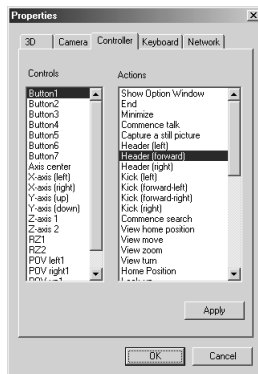
- 1 Cliquez avec le bouton droit de la souris dans la zone grisée du panneau Control (Commande), puis cliquez sur Propriétés (Propriétés).

La boîte de dialogue Propriétés (Propriétés) apparaît.

- 2 Cliquez sur l'onglet Controller (Contrôleur).

- 3 Dans la liste Controls (Commandes), sélectionnez une touche, un bouton ou une direction de manette auquel/à laquelle vous souhaitez affecter une fonction. Dans la liste Actions, sélectionnez ensuite l'action à affecter.

Le contenu de la liste des commandes varie en fonction du contrôleur raccordé.



- 4 Cliquez sur OK.

L'affectation est maintenant terminée.

Lorsque vous actionnez un bouton, une touche ou une manette auquel/à laquelle une action est affectée, AIBO se déplace selon les instructions reçues.

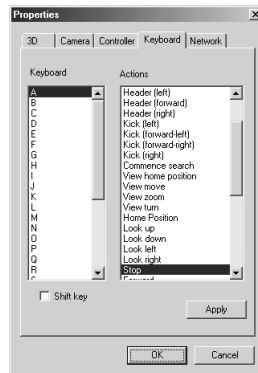
Affectation d'actions aux touches du clavier

- 1** Cliquez avec le bouton droit de la souris dans la zone grisée du panneau Control (Commande), puis cliquez sur Propriétés (Propriétés).

La boîte de dialogue Propriétés (Propriétés) apparaît.

- 2** Cliquez sur l'onglet Keyboard (Clavier).

- 3** Dans la liste Keyboard (Clavier), sélectionnez une touche à laquelle vous souhaitez affecter une fonction, puis sélectionnez l'action à affecter dans la liste Actions.



- 4** Cliquez sur OK.

L'affectation est maintenant terminée.

Lorsque vous appuyez sur la touche à laquelle une action est affectée, AIBO se déplace selon les instructions reçues.



Déplacement d'AIBO

Il existe trois façons de faire bouger ou d'arrêter AIBO.

A l'aide de la souris

Cliquez sur l'une des extrémités de la commande de direction. Lorsque vous avez cliqué, AIBO se déplace dans la direction sélectionnée jusqu'à ce que vous cliquiez au milieu de la croix pour l'arrêter.

**Tourner dans le sens contraire
des aiguilles d'une montre**



Avant Arrêt



**Tourner dans le
sens des
aiguilles
d'une
montre**

Arrière

A l'aide du contrôleur

Maintenez la manette excentrée ou appuyez sur une touche de direction. AIBO continue à marcher jusqu'à ce que vous relâchiez la manette ou la touche.

A l'aide du clavier

Appuyez sur la touche de direction de votre choix et AIBO se déplace dans la direction spécifiée.

Une fois que vous avez appuyé sur la touche, AIBO continue à marcher dans la direction sélectionnée jusqu'à ce que vous appuyiez sur la touche permettant d'arrêter AIBO.

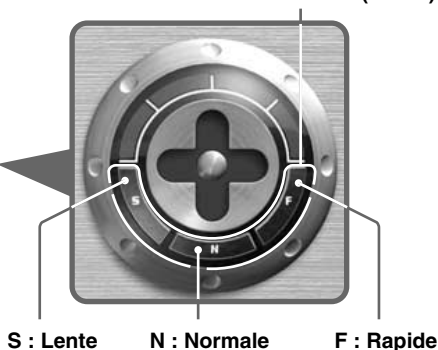
Modification de la vitesse de déplacement d'AIBO

Pour l'allure d'AIBO, vous avez le choix entre trois vitesses : rapide (F), normale (N) ou lente (S).

Pour sélectionner une vitesse, cliquez sur l'un des boutons Pace (Allure) dans le panneau principal ou utilisez le clavier ou le contrôleur.



Boutons Pace (Allure)



S : Lente

N : Normale

F : Rapide

Si AIBO tombe

Lorsqu'il est commandé par AIBO Navigator 2, AIBO ne peut se relever seul après une chute.

Si AIBO tombe, aidez-le à se relever en cliquant sur Recovery (Redressement) dans le panneau principal ou à l'aide du clavier ou du contrôleur.

Si vous ne parvenez pas à relever AIBO par commande à distance, relevez-le manuellement.



**Bouton Recovery
(Redressement)**



Réglage de l'angle de la caméra/ Enregistrement d'images fixes

La scène saisie par la caméra d'AIBO s'affiche sur le moniteur de la caméra. Vous pouvez régler l'angle de la caméra et également enregistrer des images fixes.

Réglage de l'angle de la caméra

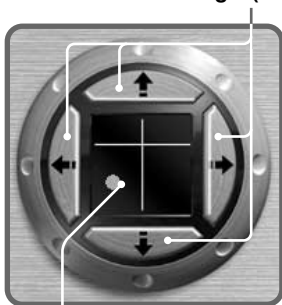
Cliquez n'importe où dans l'écran Camera angle (Angle de la caméra).

L'angle de la caméra se déplace vers l'endroit où vous avez cliqué.

Cliquez sur les boutons Camera Angle (Angle de la caméra) pour ajuster l'angle avec précision. L'angle actuel est indiqué dans l'écran Camera Angle (Angle de la caméra).

Vous pouvez également utiliser un contrôleur ou un clavier programmé avec cette fonction.*

Boutons Camera angle (Angle de la caméra)



Ecran de l'angle de la caméra

Moniteur de la caméra



* Dans ce cas, relâchez le bouton ou la manette lorsque vous parvenez à l'angle souhaité.

Alignement d'AIBO avec l'angle de la caméra

Vous pouvez commander à AIBO d'aligner son corps dans la même direction que la caméra. Lorsque vous faites cela, l'angle de la caméra revient vers l'avant. Cliquez sur le bouton Rotate (Pivoter) dans le panneau principal.

Bouton Rotate (Pivoter)



Vous pouvez également utiliser un contrôleur ou un clavier programmé avec cette fonction.

En plus de l'étape ci-dessus, vous pouvez faire avancer AIBO en cliquant sur la branche supérieure de la commande de direction (page 24).

Remarque

Il est possible que le corps ne soit pas aligné dans la direction de la caméra selon l'angle de cette dernière.

Enregistrement d'images fixes

Vous pouvez capturer la scène vue par AIBO sous forme d'image fixe.

Remarques

- Sony n'est pas responsable des conflits de violation de droits ou d'autres problèmes qui pourraient survenir entre vous et une autre personne ou une entité en raison d'une image fixe enregistrée avec AIBO. N'enregistrez pas d'images fixes qui pourraient violer les droits d'une personne ou d'une entité.
- Les images fixes de spectacles ou de d'expositions peuvent être interdites et ce qu'elles soient destinées à un usage privé ou non.

Cliquez sur Capture (Capturer) dans le panneau principal.

Vous pouvez également utiliser un contrôleur ou un clavier auquel la fonction Capture picture (Capturer une image) a été affectée.

AIBO prend une photo après en avoir reçu le signal. Il peut prendre des photos sans arrêt (si vous lui envoyez des signaux de manière répétitive).

Les images fixes sont enregistrées dans la fenêtre Album. Si vous prenez plus de 99 photos, la photo la plus récente remplace la plus ancienne dans l'album. Reportez-vous à "Tri de photos dans un album" dans la section suivante et sauvegardez les photos dans un autre dossier, le cas échéant.

A propos de la qualité de l'image

- La qualité de l'image fixe enregistrée dépend des paramètres de la boîte de dialogue Propriétés (Propriétés) (page 31).
Supérieure : environ 180×140 pixels.
Standard : environ 90×70 pixels.
- Selon l'éclairage environnant, des lignes horizontales peuvent apparaître dans l'image fixe ou l'image fixe peut prendre une teinte rougeâtre ou bleuâtre.
- L'image peut être déformée si AIBO enregistre la photographie d'un objet en mouvement.

Tri de photos dans un album

Vous pouvez enregistrer ou supprimer les images dans un album.

1 Cliquez sur Album dans le panneau principal.

La fenêtre Album apparaît.



2 Cliquez sur ◀ ou ▶ pour sélectionner l'image.

Pour enregistrer l'image, cliquez sur Save (Enregistrer).

Dans la boîte de dialogue indiquée, précisez la destination et le nom du fichier à enregistrer, puis cliquez sur OK.

Pour supprimer l'image, cliquez sur Delete (Supprimer).

L'image sélectionnée est supprimée.



Bouton ◀ ▶

Bouton Save
(Enregistrer)

Indication
du nombre
d'images

Bouton
Delete
(Supprimer)

Modification de la qualité d'une image

Vous pouvez modifier la qualité de l'image de la caméra. Définissez la qualité dans la boîte de dialogue Properties (Propriétés).

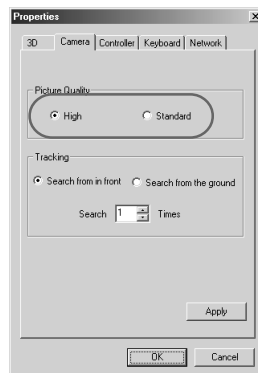
1 Cliquez avec le bouton droit de la souris dans la zone grisée du panneau principal, puis cliquez sur Properties (Propriétés).

La boîte de dialogue Properties (Propriétés) apparaît.

2 Cliquez sur l'onglet Camera (Caméra).

3 Sélectionnez la qualité de l'image.

Sélectionnez High (Supérieure) ou Standard (Standard).



4 Cliquez sur OK.



Reproduction de données son

AIBO peut reproduire des sons.

Vous pouvez enregistrer des sons sur l'ordinateur pour qu'AIBO les reproduisent ou vous pouvez faire en sorte qu'AIBO reproduise des données son déjà sauvegardées sur l'ordinateur.

Seuls les fichiers WAVE peuvent être reproduits avec AIBO Navigator 2. Le format du son doit être de 8 kHz, 8 bits, PCM monaural et le temps de lecture maximal ne doit pas dépasser quinze secondes.

Enregistrement de sons sur l'ordinateur et reproduction

1 Cliquez sur Talk (Parler) dans le panneau principal.

Vous pouvez également utiliser un contrôleur ou un clavier programmé avec la fonction Talk (Parler).

La boîte de dialogue Record (Enregistrer) apparaît.



Bouton Talk (Parler)

2 Cliquez sur .

L'enregistrement commence. Dirigez le son vers le microphone de l'ordinateur. Vous pouvez enregistrer jusqu'à quinze secondes. Après quinze secondes, l'enregistrement s'arrête.



Pour arrêter l'enregistrement avant la fin des quinze secondes, cliquez sur .

Pour vérifier le son enregistré, cliquez sur .

L'ordinateur reproduit le son enregistré.

Pour effectuer un nouvel enregistrement, cliquez de nouveau sur  et enregistrez le son.

3 Cliquez sur OK.

AIBO reproduit les données son enregistrées.

Le son enregistré ne peut pas être sauvegardé dans la boîte de dialogue Record (Enregistrer).

Reproduction de données son sauvegardées sur l'ordinateur

1 Cliquez sur Talk (Parler) dans le panneau principal.

Vous pouvez également utiliser un contrôleur ou un clavier programmé avec la fonction Talk (Parler).

La boîte de dialogue Record (Enregistrer) apparaît.



Bouton Talk (Parler)

2 Cliquez sur Browse (Parcourir).

La boîte de dialogue Open (Ouvrir) apparaît.

3 Sélectionnez le fichier WAVE que vous souhaitez reproduire et cliquez sur OK.

Le chemin menant au fichier WAVE sélectionné apparaît dans la case File (Fichier) de la boîte de dialogue Record (Enregistrer).

Pour vérifier les données son, cliquez sur .
L'ordinateur reproduit les données son sélectionnées.



4 Cliquez sur OK.

AIBO reproduit les données son sélectionnées.



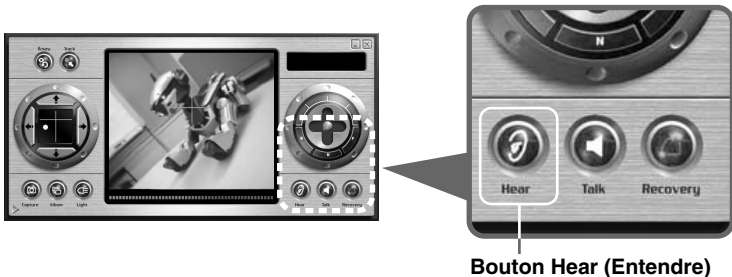
Transmission de sons

Vous pouvez transmettre un son enregistré par AIBO et l'écouter sur votre ordinateur.

Cliquez sur Hear (Ecouter) dans le panneau principal pour activer la fonction.

Vous pouvez également utiliser un contrôleur ou un clavier programmé avec la fonction Hear (Ecouter).

Le son enregistré par AIBO est transmis à l'ordinateur et émis par les haut-parleurs de l'ordinateur.



Bouton Hear (Entendre)

Pour arrêter la transmission du son, cliquez de nouveau sur Hear (Ecouter) pour désactiver la fonction.

Remarque

Un son transmis par AIBO ne peut pas être enregistré sous la forme d'un fichier de données sur votre ordinateur.



Reproduction d'un mouvement

AIBO reproduit les mouvements intégrés.

1 Cliquez sur l'indicateur du panneau secondaire dans le panneau principal.

2 Sélectionnez un mouvement dans le menu Motion (Mouvement).



Les mouvements sont placés sous différents onglets en fonction de leur catégorie. Cliquez sur un onglet pour sélectionner le mouvement que vous souhaitez reproduire.

Posture	Sleep (Sommeil), Sit (Assis), Stand (Debout)
Motion	Mouvements intégrés. (ne peuvent être modifiés)
User motion	Données de mouvement modifiable produites à l'aide du logiciel en option AIBO Master Studio. (Normalement, un seul mouvement est enregistré sous différents noms.) Voir page 41 pour savoir comment mémoriser un autre mouvement.

AIBO reproduit le mouvement sélectionné.

Cliquez sur Replay (Répétition) pour qu'AIBO répète le mouvement qu'il vient de faire.



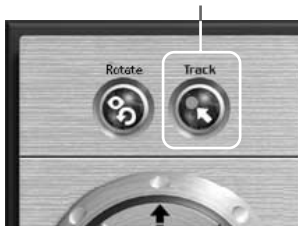
Course après la balle

AIBO recherche la balle rose et lorsqu'il la trouve, il recommence automatiquement à courir derrière elle.

Cliquez sur Track (Recherche) dans le panneau principal pour activer la fonction.

Vous pouvez également utiliser un contrôleur ou un clavier programmé avec la fonction Track (Recherche).

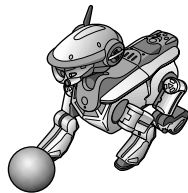
Bouton Track (Recherche)



Si “Search from in front” (“Rechercher vers l’avant”) est sélectionné sous l’onglet Camera (Caméra) dans Properties (Propriétés), AIBO commence à rechercher la balle devant lui. Si “Search from the ground” (“Rechercher à partir du sol”) est sélectionné, AIBO commence à effectuer sa recherche au niveau du sol. AIBO recherche la balle rose le nombre de fois défini. S’il ne parvient pas à la trouver, le bouton Track (Recherche) est désactivé.

Pour qu’AIBO s’arrête de courir après la balle, cliquez de nouveau sur Track (Recherche) pour désactiver la fonction.

Si AIBO perd la balle de vue en cours de recherche, l’angle de la caméra est réinitialisé sur la position de départ et le bouton Track (Recherche) est désactivé.



Définir combien de fois AIBO doit rechercher la balle

Définissez combien de fois AIBO doit rechercher la balle rose.

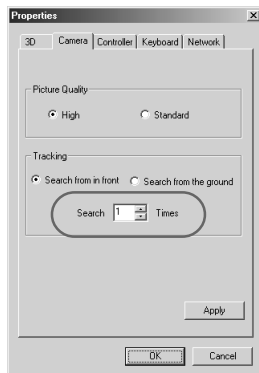
- 1 Cliquez avec le bouton droit de la souris dans la zone grisée du panneau principal, puis cliquez sur Properties (Propriétés).**

La boîte de dialogue Properties (Propriétés) apparaît.

- 2 Cliquez sur l'onglet Camera (Caméra).**

- 3 Entrez combien de fois vous souhaitez qu'AIBO effectue la recherche.**

Vous pouvez saisir un nombre entre 1 et 10.



- 4 Cliquez sur OK.**

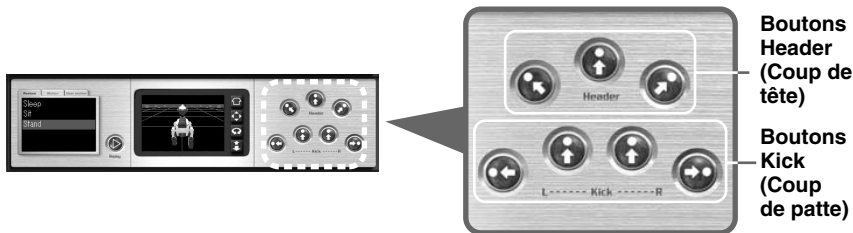


Tirer/faire une tête

AIBO tire avec ses pattes avant et fait des têtes.

Cliquez sur les boutons Kick (Coup de patte) ou Header (Coup de tête) dans le panneau secondaire.

Vous pouvez également utiliser un contrôleur ou un clavier auquel les actions Kick (Coup de patte) ou Header (Coup de tête) ont été affectées.





Allumage de la lampe escamotable

Vous pouvez allumer la lampe escamotable sur l'ERS-220.

Cliquez sur Light (Lampe) dans le panneau principal.

Vous pouvez également utiliser un contrôleur ou un clavier programmé avec la fonction Light (Lampe).



Bouton Light (Lampe)



Pour éteindre la lampe escamotable, cliquez de nouveau sur Light (Lampe) pour désactiver la fonction.

Remarque

Ne fixez pas la lampe de manière prolongée car cela pourrait vous blesser les yeux.



Utilisation de données de mouvement créées avec AIBO Master Studio

Vous pouvez remplacer le mouvement utilisateur par des données de mouvement au format axf exportées de AIBO Master Studio.

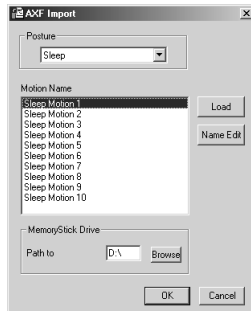
Remarques

- Ce logiciel prend en charge les données de mouvement au format axf créées pour l'ERS-210/220 à l'aide d'AIBO Master Studio, version 1.1 ou ultérieure.
- Pour utiliser cette fonction, il vous faut un lecteur/enregistreur de "Memory Stick".
- Si la position de départ est différente de la position de fin dans les données au format axf, vous ne pouvez pas utiliser ces données.

1 Introduisez le "Memory Stick" AIBO-ware livré avec AIBO Navigator 2 dans le lecteur/enregistreur de "Memory Stick".

2 Sélectionnez Démarrer - Programmes - AIBO Navigator 2 - AXF Import.

Lorsque vous sélectionnez le modèle, la boîte de dialogue AXF Import apparaît.



3 Dans la zone des lecteurs “Memory Stick”, sélectionnez le lecteur auquel le lecteur/enregistreur de “Memory Stick” est affecté.

4 Sélectionnez la position de base au format axf (Sleep (Sommeil), Sit (Assis) ou Stand (Debout)).

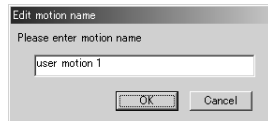
Pour chaque position, dix éléments sont fournis dans la liste des mouvements (Motion list). (Au début, la même position est enregistrée pour chaque élément. Ces dix éléments peuvent être remplacés.)

5 Dans la liste des mouvements (Motion list), sélectionnez le mouvement utilisateur (actuellement enregistré) que vous souhaitez remplacer.

6 Cliquez sur Open (Ouvrir) pour sélectionner le fichier au format axf dans la boîte de dialogue.

Modifiez le nom du mouvement qui apparaît.

7 Saisissez le nom du mouvement que vous souhaitez enregistrer, puis cliquez sur OK.



8 Répétez les étapes 4 à 7 pour remplacer d’autres éléments de mouvement.

9 Cliquez sur OK dans la zone AXF Import.

Le mouvement utilisateur spécifié dans le “Memory Stick” pour AIBO Navigator 2 est remplacé.

Cliquez sur Cancel (Annuler) dans la zone AXF Import pour annuler le remplacement.

10 Retirez le “Memory Stick” du lecteur/enregistreur de “Memory Stick”.

Remarque

Après avoir vérifié que le lecteur/enregistreur de “Memory Stick” n’est pas en train de lire le “Memory Stick” ou d’y accéder, retirez le “Memory Stick”.

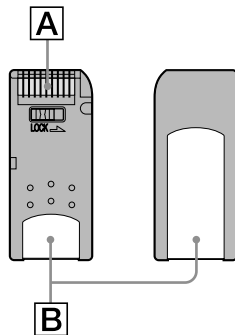
Les données de mouvement sont maintenant indiquées dans l’onglet User motion (Mouvement utilisateur) (page 36) du menu Motion (Mouvement) et peuvent être sélectionnées pour être reproduites.



Remarques relatives à l'utilisation

Pour protéger les données enregistrées sur le “Memory Stick”, respectez les indications suivantes :

- Le “Memory Stick” AIBO-ware qui accompagne AIBO Navigator 2 peut également être utilisé avec l’AIBO ERS-210/220. Toutefois, il est possible qu’il ne fonctionne pas normalement, selon l’association des appareils utilisés pour composer AIBO. En outre, ne l’utilisez pas avec un autre équipement qu’AIBO tel qu’un ordinateur ou un caméscope.
- Ne touchez pas la borne [A] avec la main ou avec un objet métallique.
- Les données sauvegardées peuvent être effacées ou endommagées si le “Memory Stick” est utilisé dans un endroit soumis à de l’électricité statique ou à des interférences électriques.
- Collez uniquement l’autocollant “Memory Stick” dédié dans l’emplacement indiqué par [B]. Un autocollant a déjà été apposé en usine sur le “Memory Stick” AIBO-ware fourni avec AIBO Navigator 2.
- Ne pliez pas le “Memory Stick”, ne le faites pas tomber et ne lui faites pas subir de choc violent.
- Ne démontez pas et ne modifiez pas le “Memory Stick”.
- Pour retirer le “Memory Stick” d’AIBO en cours de fonctionnement, appuyez d’abord sur la touche pause pour arrêter les mouvements d’AIBO et attendez jusqu’à ce que l’indicateur de verrouillage devienne blanc.



- Ne mouillez pas le “Memory Stick”.
- N'utilisez pas ou n'entrez pas le “Memory Stick” dans des endroits soumis :
 - à des températures excessivement élevées, par exemple une voiture garée en plein soleil
 - aux rayons directs du soleil
 - à une humidité élevée ou à un gaz corrosif.
- Lorsque vous transportez ou lorsque vous entreposez le “Memory Stick,” conservez-le dans le boîtier fourni.
- AIBO Navigator 2 est conçu pour être utilisé avec l'AIBO ERS-210/220. Il ne peut être utilisé avec la série “AIBO” ERS-310 ou 110/111.
- AIBO Navigator 2 ne peut être utilisé que sur le “Memory Stick” AIBO-ware sur lequel il est fourni.
- Sony décline toute responsabilité concernant les dysfonctionnements qui pourraient résulter d'une utilisation de AIBO Navigator 2 contraire aux spécifications de ce manuel.
- Les spécifications de ce logiciel sont sujettes à modification sans préavis.

Qu'est-ce que le “Memory Stick” AIBO-ware ?

Il s'agit d'un “Memory Stick” produit pour une utilisation exclusive avec AIBO et contenant le logiciel d'application exécutable sur un AIBO.



Dépannage

Si vous êtes confronté à l'une des difficultés suivantes, utilisez ce guide de dépannage pour remédier au problème. De même, reportez-vous au mode d'emploi de l'AIBO ERS-210/220 pour vérifier entièrement AIBO et l'état de ses capteurs en mode Clinique. Si le problème persiste, contactez le service consommateur AIBO. (Reportez-vous à page 3 pour obtenir des détails sur l'assistance clientèle AIBO.)

Symptôme	Remède
AIBO ne se déplace pas de la façon souhaitée.	• Une surchauffe interne s'est peut-être produite au niveau de la batterie. → Attendez un instant que la batterie refroidisse. • Les paramètres du réseau local sans fil sont incorrects. → Vérifiez les paramètres (Reportez-vous au Guide d'installation). • AIBO est hors de portée du réseau local sans fil. → Rapprochez AIBO de l'ordinateur ou du point d'accès. • AIBO est coincé ou incapable de se relever seul. → Restaurez AIBO en mode de commande à distance (pages 12 et 13). AIBO ne répond pas à la commande à distance lorsque sa batterie est en cours de chargement ou qu'il se trouve sur l'Energy Station.

Symptôme	Remède
AIBO émet une mélodie triste et ne bouge pas lorsque la touche pause est relâchée.	• Le “Memory Stick” AIBO-ware n’est pas inséré dans AIBO. • Le “Memory Stick” inséré n’est pas destiné à être utilisé avec AIBO. • La batterie est vide. → Vérifiez le niveau de la batterie (reportez-vous au mode d’emploi de l’AIBO ERS-210/220). Si nécessaire, rechargez la batterie ou insérez une batterie chargée. • L’adaptateur secteur et la fiche de conversion sont connectés à la borne de charge d’AIBO. → Déconnectez-les d’AIBO, puis redémarrez AIBO.
Le témoin de poitrine ne s’éteint pas lorsque vous appuyez sur la touche pause pour arrêter AIBO.	• Le programme interne est défectueux. → Vérifiez que l’indicateur de verrouillage de la batterie est blanc et retirez la batterie (reportez-vous au mode d’emploi de l’AIBO ERS-210/220). Réinsérez la batterie et appuyez de nouveau sur la touche pause.
La batterie est verrouillée et ne peut pas être remplacée.	• Le programme fonctionne. → Appuyez sur la touche pause pour quitter le programme.
AIBO demande à être rechargé même avec une batterie entièrement chargée.	• Si la durée de fonctionnement de la batterie diminue, il est possible que celle-ci arrive à la fin de sa durée de vie. Remplacez-la par une batterie neuve (reportez-vous au mode d’emploi de l’AIBO ERS-210/220).

Symptôme	Remède
AIBO ne peut pas être commandé via le réseau local sans fil. AIBO continue de se déplacer.	• La carte réseau sans fil AIBO n'est pas insérée dans AIBO. → Installez la carte réseau sans fil AIBO dans AIBO. • L'adresse IP du réseau local sans fil n'est pas définie. → L'adresse IP de la carte réseau sans fil AIBO insérée dans AIBO doit être enregistrée dans AIBO Navigator 2 (reportez-vous au Guide d'installation). • L'ordinateur n'est pas configuré pour une communication en réseau local. → Vérifiez qu'une carte réseau sans fil est insérée dans l'ordinateur ou que l'ordinateur est raccordé à un port d'accès du réseau local sans fil.
AIBO met beaucoup de temps avant de commencer à bouger.	• AIBO est en train de charger des données depuis le "Memory Stick". Attendez un instant.
AIBO essaie de marcher mais n'avance pas.	• Le sol est peut-être trop glissant. → Placez AIBO sur une surface pas trop glissante, comme une moquette à poils courts.
AIBO tombe souvent.	• Il se peut que le sol soit trop glissant, trop incliné ou instable. → Placez AIBO sur une surface plane non glissante.

Symptôme	Remède
AIBO s'arrête au milieu d'un mouvement.	- Les moteurs d'AIBO sont soumis à de fortes sollicitations. → Si vous continuez à faire fonctionner AIBO alors que les moteurs sont soumis à de fortes sollicitations, AIBO peut s'arrêter automatiquement. Pour qu'AIBO revienne en fonctionnement normal, poussez en arrière le capteur tactile situé sur la tête pendant 3 secondes. (Dans le cas de l'ERS-210, appuyez sur le capteur de tête pendant 3 secondes.) - AIBO chauffe. → Le témoin de poitrine s'éteint et AIBO arrête de bouger. Ne faites pas fonctionner AIBO avant qu'il ne refroidisse.
Après avoir soulevé AIBO du sol, ses pattes arrêtent de bouger ou bougent très lentement.	AIBO arrête de bouger à chaque fois que vous le soulevez du sol. → Vérifiez que l'indicateur de mode s'allume et placez AIBO sur le sol. Au bout d'un certain temps si AIBO ne bouge toujours pas, poussez en arrière le capteur tactile situé sur la tête pendant au moins 3 secondes. (Dans le cas de l'ERS-210, appuyez sur le capteur de tête pendant 3 secondes.)
L'indicateur de mode clignote et AIBO émet des tonalités musicales, mais il ne marche pas.	L'articulation d'AIBO est bloquée. → Placez AIBO sur le sol et poussez en arrière le capteur tactile situé sur la tête pendant 3 secondes. (Dans le cas de l'ERS-210, appuyez sur le capteur de tête pendant 3 secondes.)
Le témoin de poitrine clignote en orange.	La batterie est défectueuse. → Remplacez la batterie par une batterie neuve (reportez-vous au mode d'emploi de l'AIBO ERS-210/220).

Symptôme	Remède
Vous ne pouvez pas régler la caméra d'AIBO sur l'angle de votre choix.	• La portée de réglage de l'angle de la caméra diffère selon la position d'AIBO.
Les données WAVE ne sont pas reproduites avec précision.	→ Vérifiez que les données sont dans un format exploitable (page 32).
Les données WAVE ne peuvent pas être lues jusqu'à la fin.	• Seules quinze secondes peuvent être reproduites.
Vous avez cliqué sur Talk (Parler) pour préciser les données son, mais AIBO n'émet aucun son.	• Le volume est peut-être mis en sourdine. → Réglez le niveau du volume (reportez-vous au mode d'emploi de l'AIBO ERS-210/220). • Le son n'a peut-être pas été perçu par le microphone de l'ordinateur. → Pour effectuer un enregistrement, dirigez le son vers le microphone de l'ordinateur.

Symptôme	Remède
Vous avez cliqué sur Hear (Ecouter), mais aucun son n'est émis par l'ordinateur.	• Il est possible que le volume de l'ordinateur soit réglé sur Mute (sourdine). → Réglez le volume.

Hinweis für Benutzer

©2001 Sony Corporation Alle Rechte bleiben vorbehalten. Dieses Handbuch bzw. die darin beschriebene Software darf ohne vorherige schriftliche Zustimmung der Sony Corporation weder ganz noch auszugsweise nachgedruckt, übersetzt oder in eine maschinenlesbare Form gebracht werden.

MIT AUSNAHME DER SPEZIELLEN BESTIMMUNGEN IM SOFTWARELIZENZVERTRAG LIEFERT DIE SONY CORPORATION DIESES HANDBUCH, DIE SOFTWARE SOWIE ANDERE DARIN ENTHALTENE INFORMATIONEN „WIE GESEHEN“ UND „SO WIE SIE SIND“ OHNE JEDE GEWÄHRLEISTUNG. DIE SONY CORPORATION LEHNT HIERMIT JEDE GEWÄHRLEISTUNG IM HINBLICK AUF HANDELSÜBLICHE QUALITÄT, DIE BEACHTUNG DER RECHTE DRITTER ODER DIE EIGNUNG FÜR EINEN BESTIMMTEN ZWECK DIESES HANDBUCHS, DER SOFTWARE ODER ANDERER ENTSPRECHENDER INFORMATIONEN AUSSDRÜCKLICH AB. UNTER KEINEN UMSTÄNDEN ÜBERNIMMT DIE SONY CORPORATION DIE HAFTUNG FÜR INDIREKTE, SPEZIELLE ODER FOLGESCHÄDEN, OB AUF

VERTRAGSVERLETZUNGEN ODER DER EINHALTUNG DES VERTRAGS ODER ANDEREM BASIEREND, DIE AUF DIE VERWENDUNG DIESES HANDBUCHS, DER SOFTWARE ODER ANDERER DARIN ENTHALTENER INFORMATIONEN ZURÜCKGEHEN ODER IN VERBINDUNG DAMIT AUFTRETEN, SOWEIT DER SONY CORPORATION NICHT VORSATZ ODER GROBE FAHRLÄSSIGKEIT ZUR LAST FÄLLT.

Die Sony Corporation behält sich das Recht vor, an diesem Handbuch oder den darin enthaltenen Informationen jederzeit ohne Ankündigung Änderungen vorzunehmen.

Die in diesem Handbuch beschriebene Software kann auch den Bestimmungen eines separaten Endbenutzerlizenzvertrags unterliegen.

Die in diesem Produkt enthaltene Software ist Eigentum von Sony oder wurde von Drittherstellern lizenziert. Die Verwendung dieser Software unterliegt den Bestimmungen des Lizenzvertrags, der diesem Produkt beiliegt. Die Spezifikationen der Software unterliegen unangekündigten Änderungen und sind nicht unbedingt mit den zur Zeit im Einzelhandel erhältlichen Versionen identisch.

Bevor Sie die Software verwenden, lesen Sie bitte den beiliegenden Endbenutzerlizenzvertrag. Dieser enthält die Bestimmungen zur Verwendung dieser Software.

- Diese Software bzw. Dokumentation ist urheberrechtlich geschützt und wird unter einer Lizenz vertrieben, die Beschränkungen hinsichtlich Einsatz, Kopieren und Distribution mit sich bringt. Diese Software bzw. diese Dokumentation darf ohne vorherige schriftliche Genehmigung von Sony Corporation weder ganz noch auszugsweise vervielfältigt bzw. gewerbsmäßig verliehen werden.
- Sony Corporation schließt jegliche Haftung aus für Unannehmlichkeiten, die auf Missbrauch oder unsachgemäßen, anderen als in dieser Dokumentation beschriebenen Gebrauch zurückzuführen sind.
- Die mitgelieferte Software ist ausschließlich für den Einsatz mit den angegebenen Einheiten bestimmt.
- Änderungen der Spezifikationen der mitgelieferten Software bleiben vorbehalten.

Kundendienst

So erreichen Sie den AIBO-Kundendienst.



OPEN-R

„OPEN-R“ ist die Standardschnittstelle für ein Spielrobotersystem, das Sony aktiv fördern möchte. Ziel dieser Schnittstelle ist es, die Palette der Funktionen und Merkmale von Spielrobotern mit Hilfe einer flexiblen Kombination von Hardware und austauschbarer Software für unterschiedliche Anwendungsmöglichkeiten zu erweitern.

„AIBO Navigator 2“ entspricht der OPEN-R-Version 1.1.2 (Software-Spezifikationen).

„AIBO“, das AIBO-Logo , „OPEN-R“ und das OPEN-R-Logo  sind eingetragene Marken der Sony Corporation.

„Memory Stick“,  und „**MEMORY STICK**“ sind Marken der Sony Corporation. Microsoft, Windows und Direct X sind eingetragene Marken der Microsoft Corporation in den USA und anderen Ländern.

Alle anderen in diesem Handbuch erwähnten Produkt- oder Firmennamen können Marken oder eingetragene Marken der jeweiligen Unternehmen sein.

In diesem Handbuch sind die Marken nicht mit dem Zeichen „™“ und „®“ markiert.

Weitere Informationen zu AIBO finden Sie im Internet auf folgender Web-Site:
<http://www.aibo.com/>

Die Reproduktion ganz oder auszugsweise ist ohne schriftliche Genehmigung untersagt. Alle Rechte vorbehalten.



Inhalt

Einführung	7
Starten von AIBO Navigator 2	8
Beenden von AIBO Navigator 2	11
AIBOs Modi und Vorgehen zum Fortsetzen des normalen Betriebs	12
Für den ERS-220	12
Für den ERS-210	13
Beschreibung der Elemente im Steuerungsfenster	14
Hauptfenster	14
Unterfenster	17
Dialogfeld „Properties“	19
Steuern von AIBO	21
Belegen von Controller-Tasten mit Aktionen	22
Belegen von Tastaturtasten mit Aktionen	23
Bewegen von AIBO	24
Verwenden der Maus	24
Verwenden des Controllers	25
Verwenden der Tastatur	25
Ändern von AIBOs Laufgeschwindigkeit	25
Wenn AIBO hinfällt	26

Einstellen des Kamerawinkels/Speichern von Standbildern	27
Einstellen des Kamerawinkels	27
Ausrichten von AIBO auf den Kamerawinkel	28
Speichern von Standbildern	29
Sortieren von Bildern in einem Album	30
Ändern der Bildqualität	31
Wiedergeben von Tondaten	32
Aufzeichnen von Ton auf dem PC und Wiedergeben des Tons	32
Wiedergeben von auf dem PC gespeicherten Tondaten	34
Übertragen von Tondaten	35
Ausführen eines Bewegungsablaufs	36
Jagen des Balls	37
Einstellen der Anzahl von AIBOs Versuchen, den Ball zu finden	38
Kicken/Köpfen des Balls	39
Einschalten der ausfahrbaren Leuchte	40
Verwenden von mit AIBO Master Studio erstellten Bewegungsdaten	41
Hinweise zur Verwendung	44
Störungsbehebung	46

Weitere Informationen zu „AIBO“ ERS-210/220 (Bezeichnung von Teilen, Einstellungen, Einsetzen des „Memory Sticks“, Sicherheitsmaßnahmen usw.) finden Sie in der Bedienungsanleitung zu „AIBO“ ERS-210/220.



Einführung

Haben Sie die AIBO Navigator 2-Software bereits installiert?

Wenn nicht, schlagen Sie bitte in der Installationsanleitung nach, installieren Sie AIBO Navigator 2 und konfigurieren Sie ein drahtloses LAN.

Nun haben Sie die Möglichkeit, Ihren „AIBO“ ERS-210/220 fernzusteuern.

In diesem Benutzerhandbuch wird beschrieben, wie Sie AIBO Navigator 2 starten, und Sie finden Informationen zum Steuerungsfenster und zum Fernsteuern von AIBO.

* In diesem Handbuch wird ERF-220AW05 als AIBO Navigator 2 bezeichnet.



Starten von AIBO Navigator 2

Schalten Sie den PC und AIBO ein und rufen Sie den AIBO Navigator 2 auf.

Hinweise

Wenn Ihr PC über ein Modem mit dem Internet verbunden ist, wählt der PC beim Starten von AIBO Navigator 2 je nach Konfiguration unter Umständen automatisch und überprüft die Internet-Verbindung.

Wenn Sie die Wählverbindung deaktivieren wollen, müssen Sie folgende Einstellung vornehmen:

- ① Klicken Sie in der Task-Leiste auf „Start“ - „Einstellungen“ - „Systemsteuerung“.
- ② Doppelklicken Sie auf das Symbol „Internetoptionen“.
- ③ Klicken Sie unter „DFÜ-Einstellungen“ auf der Registerkarte „Verbindungen“ auf „Keine Verbindung wählen“.
- ④ Klicken Sie auf „OK“.

1 Schalten Sie Ihren PC ein.

Schalten Sie den PC ein und starten Sie Windows.

2 Schalten Sie AIBO ein.

Setzen Sie den „Memory Stick“ in AIBO ein und aktivieren Sie AIBO.

- ① **Setzen Sie den AIBO Navigator 2-„Memory Stick“ in AIBO ein.**
Einzelheiten dazu finden Sie in der Bedienungsanleitung zu AIBO.
- ② **Drücken Sie AIBOs Pausetaste, um AIBO zu aktivieren.**

3 Rufen Sie AIBO Navigator 2 auf.

- ① **Doppelklicken Sie auf das Verknüpfungssymbol auf dem Desktop oder klicken Sie auf der Taskleiste auf „Start“ - „Programme“ - „AIBO Navigator 2“ - „AIBO Navigator 2“.**

Das Dialogfeld „User Authentication“ erscheint. (Wenn bei der Installation keine Benutzer-ID und kein Kennwort definiert wurden, erscheint das Dialogfeld „User Authentication“ nicht.)

- ② **Geben Sie die Benutzer-ID und das Kennwort ein, das Sie beim Konfigurieren des drahtlosen LAN eingegeben haben (Installationsanleitung, Seite 17), und klicken Sie dann auf OK.**

Wenn Sie das Kontrollkästchen „Save password“ aktivieren, brauchen Sie die ID oder das Kennwort ab dem nächsten Mal nicht mehr einzugeben. Das Steuerungsfenster wird angezeigt.

Hauptfenster



Unterfenster

Das Steuerungsfenster besteht aus dem Hauptfenster und dem Unterfenster. Sie können auch nur das Hauptfenster öffnen.



Beenden von AIBO Navigator 2

Beenden Sie AIBO Navigator 2 am PC und an AIBO.

1 Sie haben zwei Möglichkeiten, AIBO Navigator 2 zu beenden.

- Klicken Sie im Hauptfenster auf
 - Klicken Sie mit der rechten Maustaste auf den metallgrauen Bereich im Steuerungsfenster und wählen Sie „Exit“ aus dem Menü.
-

2 Drücken Sie die Pausetaste auf AIBOs Brust, um ihn in den Pausemodus zu schalten, und nehmen Sie dann den „Memory Stick“ heraus.

Einzelheiten zum Herausnehmen des „Memory Sticks“ schlagen Sie bitte in der Bedienungsanleitung zu AIBO nach.

AIBOs Modi und Vorgehen zum Fortsetzen des normalen Betriebs

Wenn ein Fremdkörper in eins von AIBOs Gelenken gerät oder AIBO während des Betriebs von AIBO Navigator 2 vom Boden aufgehoben und dadurch in seiner Bewegung unterbrochen wird, gehen Sie wie im folgenden erläutert vor, um AIBO wieder fernsteuern zu können.

Für den ERS-220

Normalbetrieb
AIBO bewegt sich ferngesteuert.



Hinweise

- Verwenden Sie AIBO nicht an Orten, an denen er Vibrationen ausgesetzt ist, auf einer schiefen Ebene oder an Orten, an denen er herunterfallen könnte.
- Achten Sie darauf, dass sich keine Gegenstände um AIBO herum befinden, die ihn in seinen Bewegungen behindern könnten.

Etwas ist in irgendein Gelenk von AIBO geraten

Drücken Sie den Berührungssensor am Kopf 3 Sekunden lang nach hinten

Wenn ein Fremdkörper in AIBOs Genick oder Beingelenk gerät, lockert AIBO alle seine Gelenke. Damit sollen Verletzungen vermieden werden für den Fall, dass Sie sich einen Finger in einem der Gelenke einklemmen. In diesem Zustand blinkt AIBOs Modusanzeige.

Um AIBO wieder in den Normalbetrieb zu schalten, drücken Sie den Berührungssensor am Kopf 3 Sekunden lang nach hinten.

Blockiermodus

Blinkt

Die Gelenke lockern sich, wenn ein Fremdkörper in ein Gelenk gerät.



AIBO wird hochgehoben

Setzen Sie AIBO auf den Boden oder drücken Sie den Berührungssensor am Kopf 3 Sekunden lang nach hinten

Wenn Sie AIBO vom Boden aufheben, wechselt er in einen Modus, in dem Sie ihn leichter halten können, und die Modusanzeige leuchtet.

Um AIBO wieder in den Normalbetrieb zu schalten, setzen Sie ihn einfach auf den Boden. Wenn AIBO auch nach einer Weile noch nicht normal agiert, drücken Sie den Berührungssensor am Kopf 3 Sekunden lang nach hinten.

Tragemodus

Leuchtet



So laden Sie den Akku

Drücken Sie die Pausetaste auf AIBOs Brust, um ihn so in den Pausemodus zu schalten.

Laden Sie den Akku mit dem mit AIBO mitgelieferten Netzteil oder mit einer Energiestation (gesondert erhältlich). Einzelheiten dazu finden Sie in der Bedienungsanleitung zu AIBO oder zur Energiestation.



Hinweis

AIBO befindet sich im Ruhezustand, wenn sein Akku geladen wird oder er auf der Energiestation sitzt. In diesem Fall reagiert AIBO nicht auf Ihre Befehle.

Für den ERS-210

Normalbetrieb

AIBO bewegt sich ferngesteuert.



Hinweise

- Verwenden Sie AIBO nicht an Orten, an denen er Vibrationen ausgesetzt ist, auf einer schiefen Ebene oder an Orten, an denen er herunterfallen könnte.
- Achten Sie darauf, dass sich keine Gegenstände um AIBO herum befinden, die ihn in seinen Bewegungen behindern könnten.

Etwas ist in irgendein Gelenk von AIBO geraten

Drücken Sie 3 Sekunden lang den Kopfsensor

Wenn ein Fremdkörper in AIBOs Genick oder Beingelenk gerät, lockert AIBO alle seine Gelenke. Damit sollen Verletzungen vermieden werden für den Fall, dass Sie sich einen Finger in einem der Gelenke einklemmen. In diesem Zustand blinkt AIBOs Modusanzeige. Um AIBO wieder in den Normalbetrieb zu schalten, drücken Sie den Kopfsensor 3 Sekunden lang.

AIBO wird hochgehoben

Setzen Sie AIBO auf den Boden oder drücken Sie den Berührungssensor am Kopf 3 Sekunden lang, nachdem Sie ihn auf den Boden gesetzt haben

Wenn Sie AIBO vom Boden aufheben, wechselt er in einen Modus, in dem Sie ihn leichter halten können, und die Modusanzeige leuchtet. Um AIBO wieder in den Normalbetrieb zu schalten, setzen Sie ihn einfach auf den Boden. Wenn AIBO auch nach einer Weile noch nicht normal agiert, drücken Sie den Kopfsensor 3 Sekunden lang.

Blockiermodus

Blinkt

Die Gelenke lockern sich, wenn ein Fremdkörper in ein Gelenk gerät.



Tragemodus

Leuchtet



So laden Sie den Akku

Drücken Sie die Pausetaste auf AIBOs Brust, um ihn so in den Pausemodus zu schalten.

Laden Sie den Akku mit dem mit AIBO mitgelieferten Netzteil oder mit einer Energiestation (gesondert erhältlich). Einzelheiten dazu finden Sie in der Bedienungsanleitung zu AIBO oder zur Energiestation.



Hinweis

AIBO befindet sich im Ruhezustand, wenn sein Akku geladen wird oder er auf der Energiestation sitzt. In diesem Fall reagiert AIBO nicht auf Ihre Befehle.

Beschreibung der Elemente im Steuerungsfenster

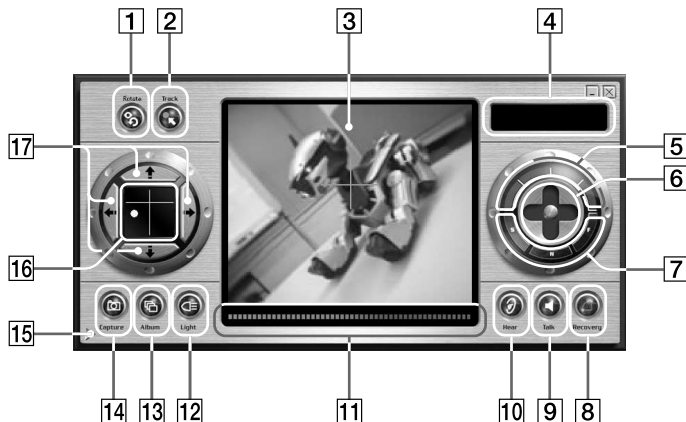
Mithilfe des Steuerungsfensters können Sie AIBO vom Bildschirm Ihres PCs aus fernsteuern.

Das Steuerungsfenster besteht aus dem Hauptfenster und dem Unterfenster.

Hauptfenster

Das Hauptfenster erscheint beim Starten von AIBO Navigator 2 als Erstes. Hier werden die Ergebnisse der über einen Controller oder eine Tastatur ausgeführten Funktionen angezeigt.

Zum Verschieben des Fensters ziehen Sie es einfach mit der Maus.



1 Schaltfläche „Rotate“

Klicken Sie auf diese Schaltfläche, um AIBOs Körper auf den Kamerawinkel auszurichten. In diesem Fall wird wieder der Kamerawinkel „vorne“ eingestellt (Seite 28).

2 Schaltfläche zur Ballverfolgung

Mit jedem Klicken auf diese Schaltfläche wird die Ballverfolgungsfunktion ein- bzw. ausgeschaltet. Wenn die Ballverfolgungsfunktion eingeschaltet ist, beginnt AIBO, nach dem pinkfarbenen Ball zu suchen (Seite 37).

3 Kameramonitor

Zeigt die Szene, die von AIBOs Kamera aufgenommen wird.

4 Statusanzeige

Gibt AIBOs Status an.

5 Batterieanzeige

Hier können Sie die Restladung des Akkus in AIBO ablesen (vier Stufen).

6 Richtungsregler

Zum Steuern der Richtung von AIBOs Bewegung.

Klicken Sie dazu auf die Spitzen (dunkelgrau) des Kreuzes. Klicken Sie auf die Mitte des Kreuzes, um AIBO anzuhalten (Seite 24).

7 Geschwindigkeitsschaltflächen

Hier können Sie auswählen, wie schnell AIBO vorwärtslaufen soll: schnell (F), normal (N) oder langsam (S) (Seite 25).

8 Schaltfläche „Recovery“

Zum Wiederherstellen von AIBO in den Normalzustand nach einem Sturz (Seite 26).

9 Schaltfläche „Talk“

Mit dieser Schaltfläche können Sie Tondaten von Ihrem PC übertragen, die von AIBO wiedergegeben werden (Seite 32).

10 Schaltfläche „Hear“

Mit jedem Klicken auf diese Schaltfläche wird die Funktion ein- bzw. ausgeschaltet.

Wenn die Funktion eingeschaltet ist, wird von AIBO aufgenommener Ton an Ihren PC übertragen (Seite 35).

11 Objektsensor

Zeigt den Abstand zwischen AIBO und dem Objekt an, das im Kameramonitor **3** durch die Markierung + gekennzeichnet ist.

12 Schaltfläche „Light“

Mit jedem Klicken auf diese Schaltfläche wird die Funktion „Leuchte“ ein- bzw. ausgeschaltet. Wenn die Funktion eingeschaltet

ist, leuchtet die ausfahrbare Leuchte am ERS-220 auf.

Diese Funktion steht nur beim ERS-220 zur Verfügung (Seite 40).

13 Schaltfläche „Album“

Ruft das Albumfenster auf (Seite 30).

14 Schaltfläche „Capture“

Klicken Sie auf diese Schaltfläche, um die Szene vor AIBOs Kamera als Standbild zu speichern (Seite 29).

15 Anzeige für das Unterfenster

Klicken Sie hierauf, um das Unterfenster zu schließen. Klicken Sie erneut hierauf, um das Unterfenster wieder zu öffnen (Seite 17).

16 Kamerawinkelbildschirm

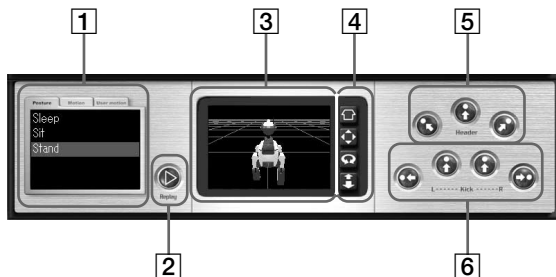
Der Winkel von AIBOs Kamera wird durch die gelben Linien angezeigt. Die Position des pinkfarbenen Balls wird angezeigt, sobald er erkannt wird (Seite 27).

17 Kamerawinkelschaltflächen

Dienen zum Feineinstellen des Winkels von AIBOs Kamera (Seite 27).

Unterfenster

Über das Unterfenster können Sie AIBO eine Kick- oder Köpfbewegung ausführen oder eine Bewegung wiederholen lassen. Das Unterfenster wird normalerweise unter dem Hauptfenster angezeigt. Sie können es jedoch auch schließen. Näheres dazu finden Sie unter **15** im Abschnitt „Hauptfenster“.



1 Bewegungsmenü

Wählen Sie die Registerkarte und wählen Sie dann den Bewegungsablauf, der ausgeführt werden soll (Seite 36).

2 Schaltfläche „Replay“

AIBO führt den letzten Bewegungsablauf erneut aus (Seite 36).

3 AIBO-3D-Anzeige

Zeigt ein 3D-Bild von AIBO und seiner aktuellen Pose an. AIBOs Sensoren werden auf dem Bildschirm angezeigt, wenn Sie sie berühren.

Das 3D-Bild entspricht nicht immer genau AIBOs Bewegungen.

4 Schaltfläche für 3D-Ansicht von AIBO

Klicken Sie auf diese Schaltfläche, um die Perspektive des 3D-Bildes zu wechseln. Dabei ändert sich nur die Bildperspektive, AIBO selbst bewegt sich nicht.



Schaltfläche zum Anzeigen der Ausgangsposition

Zum Zurücksetzen der Perspektive des 3D-Bildes von AIBO in die Ausgangsposition. Stellen Sie die Ausgangsposition im Dialogfeld „Properties“ ein (Seite 19).



Schaltfläche zum Anzeigen der Bildverschiebung

Zum Verschieben des 3D-Bildes von AIBO. Ziehen Sie die Maus in der AIBO-3D-Anzeige, um das Bild zu verschieben.



Schaltfläche zum Anzeigen der Drehung

Zum Drehen des 3D-Bildes von AIBO. Ziehen Sie die Maus, um AIBO in einer anderen Perspektive zu sehen.



Schaltfläche zum Anzeigen des Zoom

Zum Verkleinern/Vergrößern des 3D-Bildes von AIBO.

5 Schaltflächen „Header“

Hiermit können Sie AIBO eine Köpfbewegung ausführen lassen (Seite 39).

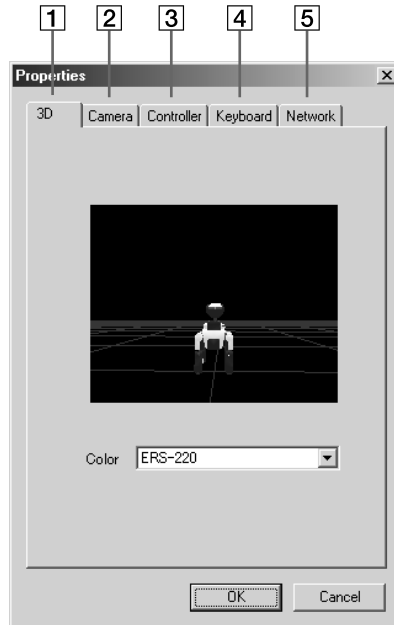
6 Schaltflächen „Kick“

Hiermit können Sie AIBO eine Kickbewegung ausführen lassen (Seite 39).

Dialogfeld „Properties“

Definieren Sie verschiedene Voreinstellungen für den Betrieb mit der Fernbedienung.

Zum Öffnen des Dialogfeldes „Properties“ klicken Sie mit der rechten Maustaste auf den metallgrauen Bereich im Steuerungsfenster und wählen dann „Properties“ aus dem Menü.



1 Registerkarte „3D“

Zum Einstellen der Ausgangsposition für die Perspektive des 3D-Bildes von AIBO.

Ziehen Sie das 3D-Bild auf dem Bildschirm in die gewünschte Perspektive und klicken Sie auf OK.

Wählen Sie die Körperfarbe für das 3D-Bild von AIBO aus.

Die Farbe, die Sie aus der Liste „Color“ auswählen, ist ab dem nächsten Starten von AIBO Navigator 2 zu sehen.

Hinweis

Beim ERS-220 können Sie die Körperfarbe nicht auswählen.

2 Registerkarte „Camera“

Stellen Sie die Bildqualität der Kamera ein (Seite 31).

Stellen Sie ein, wie oft AIBO nach dem pinkfarbenen Ball suchen soll (Seite 38).

3 Registerkarte „Controller“

Hier können Sie Controller-Tasten mit AIBOs Aktionen belegen (Seite 22).

4 Registerkarte „Keyboard“

Hier können Sie Tastaturtasten mit AIBOs Aktionen belegen (Seite 23).

5 Registerkarte „Network“

Stellen Sie die IP-Adressen von PC und AIBO ein (siehe die Installationsanleitung).



Steuern von AIBO

AIBO wird über das Steuerungsfenster gesteuert.

Sie können die unten aufgelisteten neun Funktionen steuern:

- Gehen (Seite 24)
- Wechseln des Kamerawinkels, Speichern eines Standbildes (Seite 27)
- Übertragen von Tondaten vom PC an AIBO und Wiedergabe der Daten über AIBO (Seite 32)
- Übertragen des von AIBO aufgenommenen Tons an den PC (Seite 35)
- Ausführen eines Bewegungsablaufs (Seite 36)
- Jagen des Balls (Seite 37)
- Köpfen/Kicken des Balls (Seite 39)
- Einschalten der ausfahrbaren Leuchte (Seite 40)
- Verwenden von mit AIBO Master Studio erstellten Bewegungsdaten (Seite 41)

Sie haben drei Möglichkeiten, AIBO zu steuern:

- Klicken auf Schaltflächen im Steuerungsfenster
- Verwenden eines Controllers (handelsüblich)
- Verwenden der Tastatur

Belegen von Controller-Tasten mit Aktionen

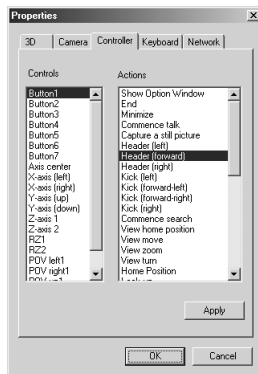
- 1 Klicken Sie mit der rechten Maustaste auf den metallgrauen Bereich im Steuerungsfenster und klicken Sie auf „Properties“.

Das Dialogfeld „Properties“ erscheint.

- 2 Klicken Sie auf die Registerkarte „Controller“.

- 3 Wählen Sie aus der Liste „Controls“ eine Taste, eine Schaltfläche oder eine Joystick-Richtung, die Sie mit einer Funktion belegen wollen, und aus der Liste „Actions“ die zuzuweisende Aktion.

Der Inhalt der Liste „Controls“ variiert je nach angeschlossenem Controller.



- 4 Klicken Sie auf OK.

Damit ist die Belegung abgeschlossen.

Wenn Sie eine Taste oder den Joystick mit einer zugewiesenen Aktion betätigen, bewegt sich AIBO wie befohlen.

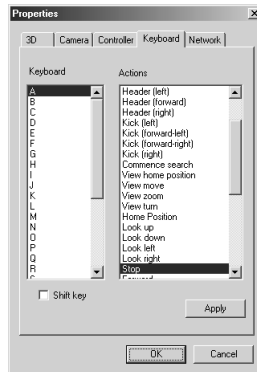
Belegen von Tastaturtasten mit Aktionen

- 1** Klicken Sie mit der rechten Maustaste auf den metallgrauen Bereich im Steuerungsfenster und klicken Sie auf „Properties“.

Das Dialogfeld „Properties“ erscheint.

- 2** Klicken Sie auf die Registerkarte „Keyboard“.

- 3** Wählen Sie aus der Liste „Keyboard“ eine Taste, die Sie mit einer Funktion belegen wollen, und aus der Liste „Actions“ die zuzuweisende Aktion.



- 4** Klicken Sie auf OK.

Damit ist die Belegung abgeschlossen.

Wenn Sie eine Taste mit einer zugewiesenen Aktion betätigen, bewegt sich AIBO wie befohlen.

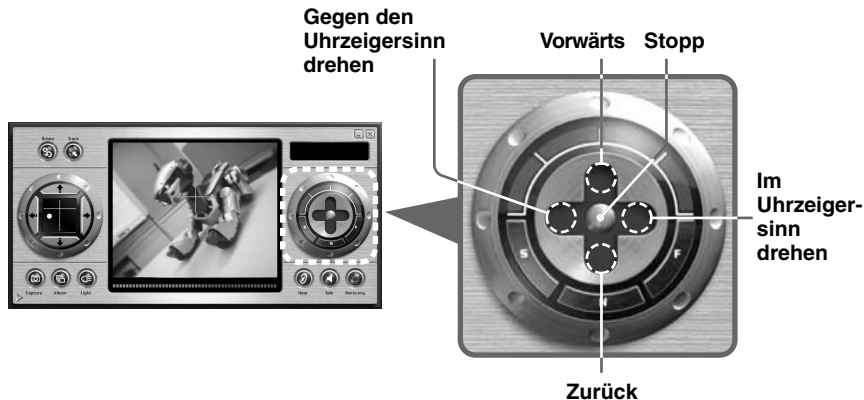


Bewegen von AIBO

Sie haben drei Möglichkeiten, AIBO zu bewegen oder zu stoppen.

Verwenden der Maus

Klicken Sie auf die Enden des Richtungsreglers. AIBO bewegt sich in die gewählte Richtung, bis Sie zum Stoppen der Bewegung auf die Mitte des Kreuzes klicken.



Verwenden des Controllers

Halten Sie den Joystick von der Mitte weg oder halten Sie eine Richtungstaste gedrückt. AIBO läuft so lange, bis Sie den Joystick bzw. die Taste loslassen.

Verwenden der Tastatur

Drücken Sie die Taste für die gewünschte Richtung und AIBO bewegt sich in die angegebene Richtung.

Wenn Sie die Taste gedrückt haben, läuft AIBO so lange, bis Sie die Taste drücken, die mit der Funktion „Stop“ belegt wurde.

Ändern von AIBOs Laufgeschwindigkeit

Sie können für AIBO drei Geschwindigkeiten auswählen: schnell (F), normal (N) oder langsam (S). Zum Auswählen einer Geschwindigkeit klicken Sie auf eine der Geschwindigkeitsschaltflächen im Hauptfenster oder verwenden die Tastatur oder den Controller.



Geschwindigkeitsschaltflächen



S : Langsam

N : Normal

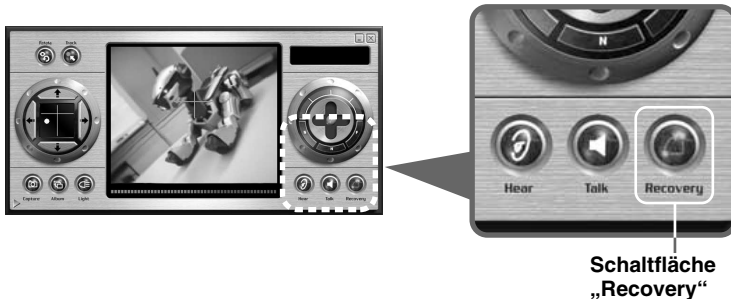
F : Schnell

Wenn AIBO hinfällt

Wenn Sie AIBO über AIBO Navigator 2 steuern, steht AIBO nach einem Sturz nicht automatisch wieder auf.

Wenn AIBO hinfällt, helfen Sie AIBO auf, indem Sie auf „Recovery“ im Hauptfenster klicken oder die Tastatur oder den Controller verwenden.

Wenn Sie AIBO nicht ferngesteuert aufrichten können, setzen Sie ihn von Hand aufrecht hin.





Einstellen des Kamerawinkels/ Speichern von Standbildern

Die Szene, die von AIBOs Kamera aufgenommen wird, erscheint auf dem Kameramonitor. Sie können den Kamerawinkel einstellen und Standbilder speichern.

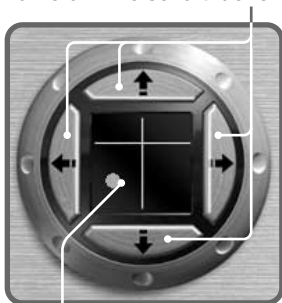
Einstellen des Kamerawinkels

Klicken Sie auf eine beliebige Stelle im Kamerawinkelbildschirm.

Der Kamerawinkel wird auf die Richtung eingestellt, auf die Sie geklickt haben. Klicken Sie zum Feineinstellen des Winkels auf die Kamerawinkelschaltflächen. Der aktuelle Winkel wird im Kamerawinkelbildschirm angezeigt.

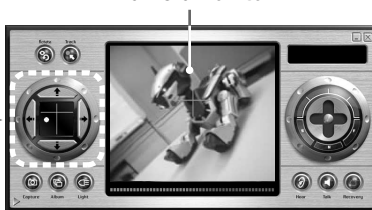
Sie können dazu auch einen Controller oder eine Tastatur verwenden, wenn diese Funktion programmiert wurde.*

Kamerawinkelschaltflächen



Kamerawinkelbildschirm

Kameramonitor



* Lassen Sie in diesem Fall die Taste bzw. den Joystick los, sobald der gewünschte Winkel erreicht ist.

Ausrichten von AIBO auf den Kamerawinkel

Sie können AIBO so ausrichten, dass sein Körper in dieselbe Richtung weist wie die Kamera. In diesem Fall wird wieder der Kamerawinkel „vorne“ eingestellt. Klicken Sie auf die Schaltfläche „Rotate“ im Hauptfenster.

Schaltfläche „Rotate“



Sie können dazu auch einen Controller oder eine Tastatur verwenden, wenn diese Funktion programmiert wurde.

Zusätzlich zu dem Schritt oben können Sie AIBO auch vorwärtsbewegen, indem Sie auf den oberen Arm des Richtungsreglers klicken (Seite 24).

Hinweis

Je nach aktuellem Kamerawinkel lässt sich AIBOs Körper möglicherweise nicht so ausrichten, dass er in dieselbe Richtung weist wie die Kamera.

Speichern von Standbildern

Sie können die Szene, die AIBO gerade „sieht“, als Standbild erfassen und speichern.

Hinweise

- Sony übernimmt keinerlei Haftung für Rechtsstreitigkeiten und andere Fragen im Hinblick auf die Verletzung von Persönlichkeits- und sonstigen Rechten, zu denen es im Zusammenhang mit einem Standbild, das mit AIBO gespeichert wurde, zwischen Ihnen und anderen natürlichen oder juristischen Personen kommen kann. Speichern Sie keine Standbilder, die die Rechte von Dritten (natürlichen oder juristischen Personen) verletzen könnten.
- Das Speichern von Standbildern von Aufführungen oder Ausstellungen kann eingeschränkt sein, und zwar unabhängig davon, ob solches Material für den Privatgebrauch bestimmt ist oder nicht.

Klicken Sie auf „Capture“ im Hauptfenster.

Sie können dazu auch einen Controller oder eine Tastatur verwenden, wenn die Funktion „Aufzeichnen eines Standbildes“ zugewiesen wurde.

AIBO nimmt ein Bild auf, nachdem er das entsprechende Signal empfangen hat. Sie können nacheinander mehrere Bilder aufnehmen, indem Sie einfach das entsprechende Signal erneut senden.

Standbilder werden im Albumfenster gespeichert. Wenn Sie mehr als 99 Bilder aufnehmen, wird das älteste Bild im Album mit dem zuletzt aufgenommenen Bild überschrieben. Schlagen Sie auch unter „Sortieren von Bildern in einem Album“ im nächsten Abschnitt nach und speichern Sie die Bilder gegebenenfalls in einem anderen Ordner.

Hinweis zur Bildqualität

- Die Qualität der gespeicherten Standbilder hängt von den Einstellungen im Dialogfeld „Properties“ ab (Seite 31).
High: ca. 180×140 Pixel.
Standard: ca. 90×70 Pixel.
- Je nach dem Umgebungslicht können auf dem Standbild horizontale Linien zu sehen sein oder das Standbild kann einen Rot- oder Blaustich aufweisen.
- Ein Standbild kann verschwommen sein, wenn AIBO versucht, ein sich schnell bewegendes Objekt aufzunehmen.

Sortieren von Bildern in einem Album

Sie können Bilder in einem Album speichern bzw. löschen.

1 Klicken Sie auf „Album“ im Hauptfenster.

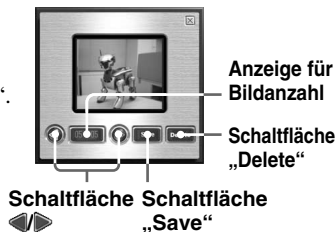
Das Albumfenster erscheint.



2 Klicken Sie zum Auswählen des Bildes auf ◀ oder ▶.

Zum Speichern des Bildes klicken Sie auf „Save“. Geben Sie in dem nächsten Dialogfeld den Speicherort und den Dateinamen an und klicken Sie dann auf OK.

Zum Löschen des Bildes klicken Sie auf „Delete“. Das ausgewählte Bild wird gelöscht.



Ändern der Bildqualität

Sie können die Bildqualität der Kamera ändern. Stellen Sie die Qualität im Dialogfeld „Properties“ ein.

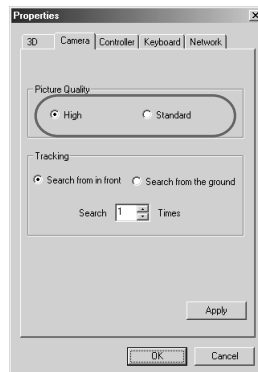
1 Klicken Sie mit der rechten Maustaste auf den metallgrauen Bereich im Hauptfenster und klicken Sie auf „Properties“.

Das Dialogfeld „Properties“ (Eigenschaften) erscheint.

2 Klicken Sie auf die Registerkarte „Camera“.

3 Wählen Sie die Bildqualität aus.

Wählen Sie „High“ oder „Standard“ aus.



4 Klicken Sie auf OK.



Wiedergeben von Tondaten

AIBO kann Tondaten wiedergeben.

Sie können auf dem PC Ton aufnehmen, den AIBO wiedergeben soll, oder aber AIBO Tondaten wiedergeben lassen, die bereits auf dem PC gespeichert sind. Nur WAVE-Dateien können mit AIBO Navigator 2 wiedergegeben werden. Bei den Tondaten muss es sich um PCM-Daten (8 kHz, 8 Bit, monaural) handeln. Die maximale Wiedergabedauer beträgt 15 Sekunden.

Aufzeichnen von Ton auf dem PC und Wiedergeben des Tons

1 Klicken Sie auf „Talk“ im Hauptfenster.

Sie können dazu auch einen Controller oder eine Tastatur verwenden, wenn die Funktion „Laut geben“ programmiert wurde. Das Aufnahmedialogfeld erscheint.



Schaltfläche „Talk“

2 Klicken Sie auf .

Die Aufnahme wird gestartet. Richten Sie die Tonquelle auf das Mikrofon am PC. Sie können bis zu fünfzehn Sekunden aufnehmen. Nach fünfzehn Sekunden endet die Aufnahme.



Wenn Sie die Aufnahme schon vor Ablauf der fünfzehn Sekunden stoppen wollen, klicken Sie auf .

Wenn Sie den aufgenommenen Ton überprüfen wollen, klicken Sie auf .

Der PC gibt den aufgenommenen Ton wieder.

Wenn Sie die Aufnahme wiederholen wollen, klicken Sie erneut auf  und nehmen den Ton auf.

3 Klicken Sie auf OK.

AIBO gibt die aufgenommenen Tondaten wieder.

Der aufgenommene Ton lässt sich im Aufnahmedialogfeld nicht speichern.

Wiedergeben von auf dem PC gespeicherten Tondaten

1 Klicken Sie auf „Talk“ im Hauptfenster.

Sie können dazu auch einen Controller oder eine Tastatur verwenden, wenn die Funktion „Laut geben“ programmiert wurde.

Das Aufnahmedialogfeld erscheint.



Schaltfläche „Talk“

2 Klicken Sie auf „Browse“.

Das Dialogfeld „OPEN“ erscheint.

3 Wählen Sie die wiederzugebende WAVE-Datei aus und klicken Sie auf OK.

Der Pfad der ausgewählten WAVE-Datei erscheint im Feld „File“ im Aufnahmedialogfeld.

Wenn Sie die Tondaten überprüfen wollen, klicken Sie auf .

Am PC werden die ausgewählten Tondaten wiedergegeben.



4 Klicken Sie auf OK.

AIBO gibt die ausgewählten Tondaten wieder.



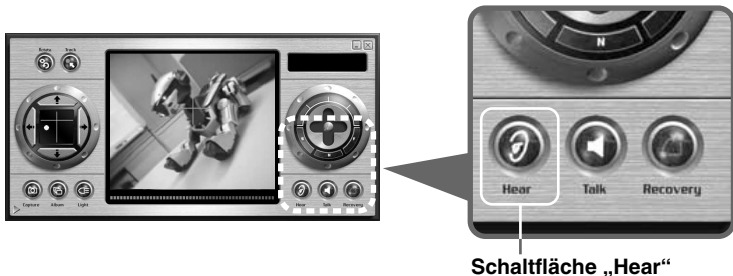
Übertragen von Tondaten

Sie können von AIBO aufgenommenen Ton an den PC übertragen und dort wiedergeben lassen.

Klicken Sie auf „Hear“ im Hauptfenster, um die Funktion einzuschalten.

Sie können dazu auch einen Controller oder eine Tastatur verwenden, wenn die Funktion „Hören“ programmiert wurde.

Der von AIBO aufgenommene Ton wird an den PC übertragen und über die Lautsprecher des PCs ausgegeben.



Um das Übertragen von Ton zu stoppen, klicken Sie erneut auf „Hear“. Damit schalten Sie die Funktion aus.

Hinweis

Von AIBO übertragener Ton kann nicht als Datendatei auf dem PC gespeichert werden.



Ausführen eines Bewegungsablaufs

AIBO kann eine Reihe vorgegebener Bewegungsabläufe ausführen.

1 Klicken Sie im Hauptfenster auf die Anzeige für das Unterfenster.

2 Wählen Sie im Bewegungsmenü einen Bewegungsablauf aus.



Die Bewegungsabläufe werden nach Kategorie unterteilt auf verschiedenen Registerkarten angezeigt.

Klicken Sie auf eine Registerkarte, um den gewünschten Bewegungsablauf auszuführen.

Posture	Sleep (Schlafen), Sit (Sitzen), Stand (Stehen)
Motion	Mitgelieferte Bewegungsabläufe (können nicht bearbeitet werden).
User motion	Bearbeitbare Bewegungsdaten, die mit der gesondert erhältlichen Software AIBO Master Studio erstellt wurden. Normalerweise ist unter verschiedenen Namen nur eine Bewegung registriert. Auf Seite 41 ist erläutert, wie Sie einen weiteren Bewegungsablauf speichern können.

AIBO führt den ausgewählten Bewegungsablauf aus.

Klicken Sie auf „Replay“, wenn AIBO den zuletzt ausgeführten Bewegungsablauf noch einmal ausführen soll.



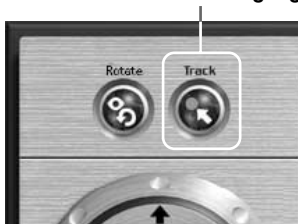
Jagen des Balls

AIBO sucht den pinkfarbenen Ball und beginnt automatisch, den Ball zu jagen, sobald er ihn gefunden hat.

Klicken Sie im Hauptfenster auf „Track“, um die Funktion zu aktivieren.

Sie können dazu auch einen Controller oder eine Tastatur verwenden, wenn die Ballverfolgungsfunktion programmiert wurde.

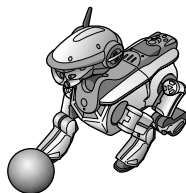
Schaltfläche zur Ballverfolgung



Wenn in „Properties“ die Registerkarte „Camera“ und dann die Option „Search from in front“ ausgewählt ist, startet AIBO die Suche vor sich. Wenn „Search from the ground“ ausgewählt ist, startet AIBO die Suche vom Boden nach oben. AIBO sucht den pinkfarbenen Ball so oft wie angegeben. Wenn er den pinkfarbenen Ball dennoch nicht finden kann, wird die Schaltfläche zur Ballverfolgung deaktiviert.

Wenn AIBO den Ball nicht weiter jagen soll, klicken Sie erneut auf die Schaltfläche zur Ballverfolgung, um die Funktion auszuschalten.

Wenn AIBO den Ball beim Verfolgen aus den Augen verliert, wird der Kamerawinkel in die Ausgangsposition zurückgesetzt und die Schaltfläche zur Ballverfolgung wird deaktiviert.



Einstellen der Anzahl von AIBOs Versuchen, den Ball zu finden

Stellen Sie ein, wie oft AIBO nach dem pinkfarbenen Ball suchen soll.

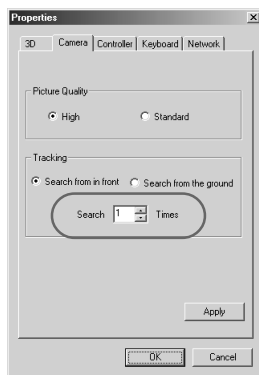
- 1 Klicken Sie mit der rechten Maustaste auf den metallgrauen Bereich im Hauptfenster und klicken Sie auf „Properties“.**

Das Dialogfeld „Properties“ erscheint.

- 2 Klicken Sie auf die Registerkarte „Camera“.**

- 3 Geben Sie ein, wie oft AIBO nach dem Ball suchen soll.**

Sie können dazu eine Zahl zwischen 1 und 10 eingeben.

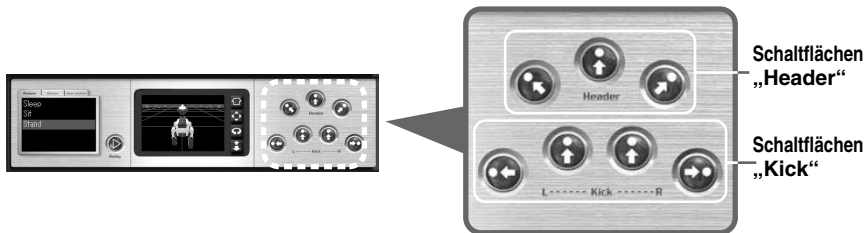


- 4 Klicken Sie auf OK.**



Kicken/Köpfen des Balls

AIBO kickt mit seinen Vorderbeinen und macht eine Köpfbewegung mit dem Kopf. Klicken Sie auf die Schaltflächen „Kick“ oder „Header“ im Unterfenster. Sie können dazu auch einen Controller oder eine Tastatur verwenden, wenn die Funktionen „Kicken“ oder „Köpfen“ zugewiesen wurden.



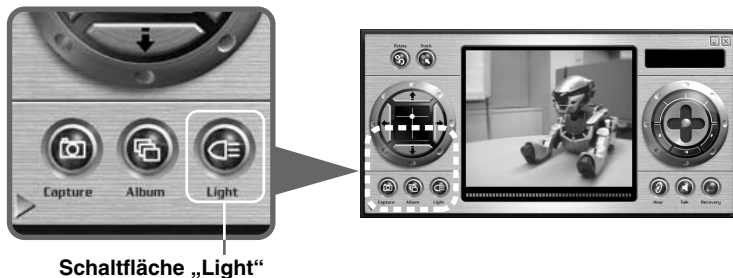


Einschalten der ausfahrbaren Leuchte

Sie können die ausfahrbare Leuchte des ERS-220 einschalten.

Klicken Sie auf „Light“ im Hauptfenster.

Sie können dazu auch einen Controller oder eine Tastatur verwenden, wenn die Funktion „Licht“ programmiert wurde.



Zum Ausschalten der ausfahrbaren Leuchte klicken Sie erneut auf „Light“. Damit schalten Sie die Funktion aus.

Hinweis

Schauen Sie nicht längere Zeit in die Leuchte. Das Licht kann die Augen schädigen.



Verwenden von mit AIBO Master Studio erstellten Bewegungsdaten

Sie können den benutzerdefinierten Bewegungsablauf durch Bewegungsdaten im axf-Format ersetzen, die aus AIBO Master Studio exportiert wurden.

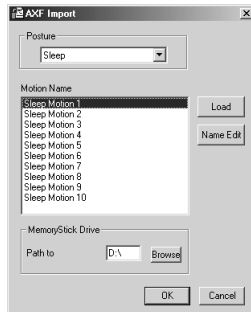
Hinweise

- Diese Software unterstützt Bewegungsdaten im axf-Format, die mit AIBO Master Studio, Version 1.1 oder höher, für den ERS-210/220 erstellt wurden.
- Für diese Funktion benötigen Sie das Lese-/Schreibgerät für „Memory Stick“.
- Wenn die Ausgangspose in den axf-Daten nicht mit der Endpose übereinstimmt, können Sie die Daten nicht verwenden.

1 Setzen Sie den AIBO-Ware-„Memory Stick“, der mit AIBO Navigator 2 geliefert wird, in das Lese-/Schreibgerät für „Memory Stick“ ein.

2 Wählen Sie „Start“ - „Programme“ - „AIBO Navigator 2“ - „AXF Import“.

Wenn Sie das Modell wählen, erscheint das Dialogfeld „AXF Import“.



3 Wählen Sie im „Memory Stick“-Laufwerksfeld das Laufwerk aus, dem das Lese-/Schreibgerät für „Memory Stick“ zugewiesen ist.

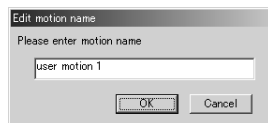
4 Wählen Sie die Grundpose im axf-Format (Schlafen, Sitzen oder Stehen).

Für jede Pose stehen in der Liste „Motion“ zehn Elemente zur Verfügung. Anfangs ist für alle Elemente dieselbe Bewegung registriert. Sie können diese zehn Elemente jedoch ersetzen.

5 Wählen Sie in der Liste „Motion“ die (zurzeit registrierte) benutzerdefinierte Bewegung, die Sie ersetzen möchten.

6 Klicken Sie auf „Open“, um die axf-Datei im Dialogfeld auszuwählen.
Geben Sie der Bewegung, die angezeigt wird, einen Namen.

7 Geben Sie den gewünschten Bewegungsnamen ein und klicken Sie auf OK.



8 Gehen Sie wie in Schritt 4 bis 7 erläutert vor, um weitere Bewegungselemente zu ersetzen.

9 Klicken Sie im Dialogfeld „AXF Import“ auf OK.

Die angegebene benutzerdefinierte Bewegung auf dem „Memory Stick“ für AIBO Navigator 2 wird ersetzt.

Klicken Sie im Dialogfeld „AXF Import“ auf „Cancel“, um das Überschreiben abzubrechen.

10 Nehmen Sie den „Memory Stick“ aus dem Lese-/Schreibgerät für „Memory Stick“.

Hinweis

Nehmen Sie den „Memory Stick“ erst aus dem Lese-/Schreibgerät für „Memory Stick“, wenn das Gerät nicht mehr auf den „Memory Stick“ zugreift.

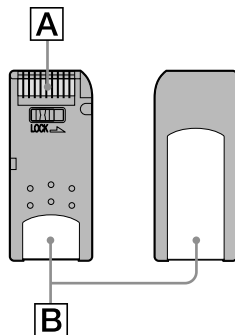
Die Bewegungsdaten werden jetzt auf der Registerkarte „User motion“ (Seite 36) im Bewegungsmenü angezeigt und können ausgewählt werden.



Hinweise zur Verwendung

Um die auf dem „Memory Stick“ gespeicherten Daten zu schützen, beachten Sie bitte folgende Hinweise.

- Der mit dem AIBO Navigator 2 gelieferte AIBO-Ware-„Memory Stick“ kann auch beim „AIBO“ ERS-210/220 verwendet werden. Je nachdem, welche AIBO-Komponenten zusammen verwendet werden, funktioniert er jedoch möglicherweise nicht ordnungsgemäß.
Verwenden Sie diesen „Memory Stick“ außerdem nicht mit anderen Geräten als einem AIBO, wie zum Beispiel einem PC oder Camcorder.
- Berühren Sie den Kontakt **A** nicht mit der Hand oder einem Metallgegenstand.
- Die gespeicherten Daten werden unter Umständen gelöscht oder beschädigt, wenn Sie den „Memory Stick“ an einem Ort verwenden, an dem er statischer Elektrizität oder elektrischen Störfeldern ausgesetzt ist.
- Kleben Sie ausschließlich einen speziellen „Memory Stick“-Aufkleber auf den mit **B** markierten Bereich. Ein Aufkleber wurde bereits werkseitig am mit AIBO Navigator 2 gelieferten AIBO Ware-„Memory Stick“ angebracht.
- Biegen Sie den „Memory Stick“ nicht, lassen Sie ihn nicht fallen und setzen Sie ihn keinen heftigen Stößen aus.
- Zerlegen Sie den „Memory Stick“ nicht und nehmen Sie keine Veränderungen daran vor.



- Wenn Sie den „Memory Stick“ herausnehmen wollen, während AIBO aktiv ist, drücken Sie zuerst die Pausetaste, so dass AIBO aufhört, sich zu bewegen, und warten Sie, bis die Verriegelungsanzeige weiß wird.
- Schützen Sie den „Memory Stick“ vor Feuchtigkeit.
- Lagern und verwenden Sie den „Memory Stick“ nicht in einer Umgebung, in der er folgenden Bedingungen ausgesetzt ist:
 - extrem hohen Temperaturen, wie sie zum Beispiel in einem in der Sonne geparkten Auto vorkommen
 - direktem Sonnenlicht
 - hoher Luftfeuchtigkeit oder korrodierenden Gasen.
- Bewahren Sie den „Memory Stick“ - auch beim Transport - in der mitgelieferten Hülle auf.
- AIBO Navigator 2 ist ausschließlich für den „AIBO“ ERS-210/220 geeignet. Es kann nicht mit „AIBOs“ der Serie ERS-310 oder 110/111 verwendet werden.
- Das Programm AIBO Navigator 2 kann nur in Kombination mit dem AIBO-Ware-„Memory Stick“ verwendet werden, auf dem es geliefert wird.
- Sony übernimmt keinerlei Haftung für Fehlfunktionen, die darauf zurückzuführen sind, dass AIBO Navigator 2 anders als in diesem Handbuch angegeben verwendet wurde.
- Die Spezifikationen dieser Software unterliegen unangekündigten Änderungen.

Was ist ein AIBO-Ware-„Memory Stick“?

Dabei handelt es sich um einen „Memory Stick“, der ausschließlich für die Verwendung mit AIBO geeignet ist und auf dem Anwendungssoftware gespeichert ist, die mit AIBO ausgeführt werden kann.



Störungsbehebung

Sollte eine der folgenden Störungen auftreten, versuchen Sie, diese anhand der folgenden Checkliste zu beheben. Anweisungen zum vollständigen Überprüfen von AIBO und seiner Sensoren im Klinikmodus finden Sie in der Bedienungsanleitung zum „AIBO“ ERS-210/220. Sollte sich ein Problem auf diese Weise nicht lösen lassen, wenden Sie sich bitte an die AIBO-Kundendienst-Hotline. (Informationen zum AIBO-Kundendienst finden Sie auf Seite 3.)

Symptom	Abhilfemaßnahme
AIBO bewegt sich nicht wie angewiesen.	• Im Akku kann sich ein Wärmestau gebildet haben. → Warten Sie eine Weile, bis der Akku sich abgekühlt hat. • Die Einstellungen für das drahtlose LAN sind falsch. → Überprüfen Sie die Einstellungen (siehe die Installationsanleitung). • AIBO befindet sich außerhalb der Reichweite des drahtlosen LAN, so dass eine Kommunikation mit ihm nicht möglich ist. → Stellen Sie AIBO näher an den PC oder den Zugriffspunkt. • AIBO hat sich verheddert oder kann aus einem anderen Grund nicht von alleine wieder aufstehen → Sorgen Sie dafür, dass Sie AIBO wieder fernsteuern können (Seite 12,13). AIBO reagiert nicht auf die Fernbedienung, wenn sein Akku geladen wird oder er auf der Energiestation sitzt.

Symptom	Abhilfemaßnahme
AIBO singt eine traurige Melodie und bewegt sich nicht, wenn Sie die Pausetaste loslassen.	• Der „Memory Stick“ mit AIBO-Ware ist nicht eingesetzt. • Der eingesetzte „Memory Stick“ ist für AIBO nicht geeignet. • Der Akku ist fast leer. → Überprüfen Sie die Akkurestladung (siehe die Bedienungsanleitung zum „AIBO“ ERS-210/220). Laden Sie den Akku gegebenenfalls oder setzen Sie einen geladenen Akku ein. • Netzadapter und Adapterstecker sind mit AIBOs Ladekontakt verbunden. → Trennen Sie zunächst Netzadapter und Adapterstecker vom AIBO ab und starten Sie dann AIBO erneut.
Die Brustlampe schaltet sich nicht aus, wenn Sie die Pausetaste drücken, um AIBO in den Pausemodus zu schalten.	• Am internen Programm ist ein Fehler aufgetreten. → Überprüfen Sie, ob die Verriegelungsanzeige für den Akku weiß leuchtet, und nehmen Sie den Akku heraus (siehe die Bedienungsanleitung zu „AIBO“ ERS-210/220). Setzen Sie den Akku wieder ein und drücken Sie erneut die Pausetaste.
Der Akku ist verriegelt und kann nicht herausgenommen werden.	• Das Programm läuft. → Drücken Sie die Pausetaste, um das Programm zu beenden.
AIBO bittet darum, aufgeladen zu werden, obwohl ein vollständig aufgeladener Akku eingesetzt wurde.	• Wenn die Betriebsdauer des Akkus immer kürzer wird, hat der Akku möglicherweise das Ende seiner Nutzungsdauer erreicht. Tauschen Sie ihn gegen einen neuen Akku aus (siehe die Bedienungsanleitung zu „AIBO“ ERS-210/220).

Symptom	Abhilfemaßnahme
AIBO lässt sich über das drahtlose LAN nicht steuern. AIBO hört nicht auf, sich zu bewegen.	• Die drahtlose LAN-Karte für AIBO wurde nicht in AIBO eingesetzt. → Setzen Sie die drahtlose LAN-Karte für AIBO in AIBO ein. • Die IP-Adresse für das drahtlose LAN wurde nicht eingestellt. → Die IP-Adresse der drahtlosen LAN-Karte für AIBO, die in AIBO installiert ist, muss in AIBO Navigator 2 registriert werden (siehe die Installationsanleitung). • Der PC ist nicht für die LAN-Kommunikation konfiguriert. → Überprüfen Sie, ob eine drahtlose LAN-Karte in den PC eingesetzt wurde oder ob der PC an einen drahtlosen LAN-Zugriffspunkt angeschlossen ist.
AIBO braucht sehr lange, bis er sich bewegt.	• AIBO liest Daten vom „Memory Stick“ ein. Warten Sie bitte ein bisschen.
AIBO versucht zu laufen, kommt aber nicht vom Fleck.	• Möglicherweise ist der Boden zu glatt. → Setzen Sie AIBO auf eine Bodenfläche, die nicht zu glatt ist, zum Beispiel auf einen Teppich mit kurzem Flor.
AIBO fällt oft hin.	• Möglicherweise ist der Boden zu glatt, geneigt oder instabil. → Setzen Sie AIBO auf eine waagrechte, nicht zu glatte Bodenfläche.

Symptom	Abhilfemaßnahme
AIBO bricht eine Bewegung mittendrin ab.	• AIBOs Motoren sind überlastet. → Wenn Sie den Betrieb fortsetzen, solange die Motoren überlastet sind, stoppt AIBO möglicherweise automatisch. Um AIBO wieder in den Normalbetrieb zu schalten, drücken Sie den Berührungssensor am Kopf 3 Sekunden lang nach hinten. (Beim ERS-210 drücken Sie den Kopfsensor 3 Sekunden lang.) • AIBO erwärmt sich zu sehr. → Die Brustlampe erlischt und AIBO bewegt sich nicht mehr. Warten Sie ab, bis AIBO abgekühlt ist.
Nachdem Sie AIBO hochgehoben haben, bewegt er seine Beine nicht mehr und bewegt sich auch sonst sehr langsam.	• AIBO bewegt sich nicht mehr, sobald er vom Boden aufgehoben wird. → Überprüfen Sie, ob die Modusanzeige leuchtet, und setzen Sie AIBO auf den Boden. Wenn sich AIBO nach einiger Zeit immer noch nicht bewegt, drücken Sie den Berührungssensor am Kopf 3 Sekunden lang nach hinten. (Beim ERS-210 drücken Sie den Kopfsensor 3 Sekunden lang.)
Die Modusanzeige blinkt und AIBO gibt Tonfolgen von sich, aber er läuft nicht.	• AIBOs Gelenk ist blockiert. → Setzen Sie AIBO auf den Boden und drücken Sie den Berührungssensor am Kopf 3 Sekunden lang nach hinten. (Beim ERS-210 drücken Sie den Kopfsensor 3 Sekunden lang.)

Symptom	Abhilfemaßnahme
Die Brustlampe blinkt orange.	• Am Akku ist ein Fehler aufgetreten. → Tauschen Sie den Akku gegen einen neuen aus (siehe die Bedienungsanleitung zu „AIBO“ ERS-210/220).
Sie können für AIBOs Kamera nicht den gewünschten Winkel einstellen.	• Der Einstellbereich des Kamerawinkels hängt von AIBOs Pose ab.
WAVE-Daten werden nicht korrekt wiedergegeben.	→ Überprüfen Sie, ob die Daten in einem geeigneten Format vorliegen (Seite 32).
WAVE-Daten werden nicht bis zum Ende wiedergegeben.	• Nur 15 Sekunden können wiedergegeben werden.
Zum Ausgeben von Tondaten wurde auf „Talk“ geklickt, aber von AIBO ist kein Ton zu hören.	• Der Ton wurde möglicherweise stummgeschaltet. → Stellen Sie den Lautstärkepegel ein (siehe die Bedienungsanleitung zu „AIBO“ ERS-210/220). • Der Ton wurde vom Mikrofon am PC möglicherweise nicht erkannt. → Richten Sie zum Aufnehmen die Tonquelle auf das Mikrofon am PC.

Symptom	Abhilfemaßnahme
Sie haben auf „Hear“ geklickt, aber über den PC wird kein Ton ausgegeben.	• Der Ton am PC ist möglicherweise stummgeschaltet. → Stellen Sie die Lautstärke ein.

